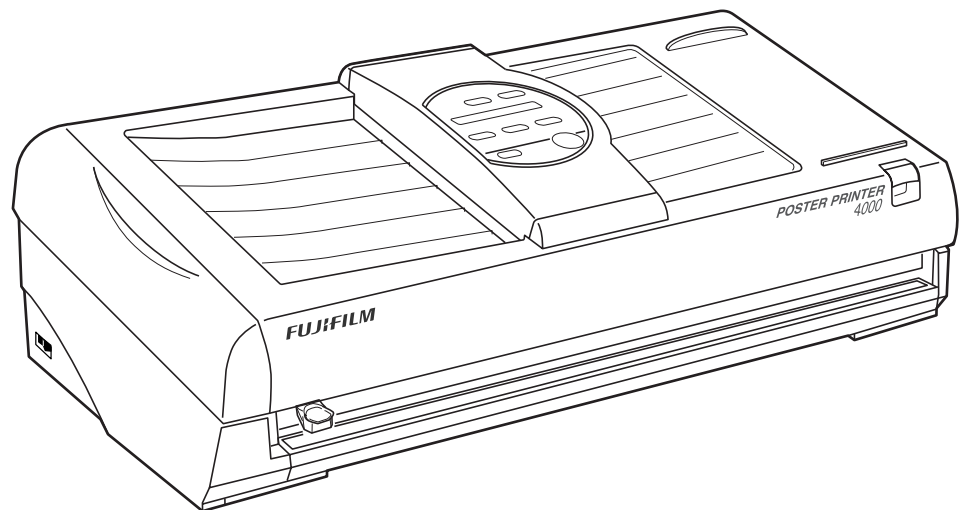


FUJIFILM

取扱説明書

POSTER PRINTER 4000



第2版

SP546

はじめに

このたびは、FUJIFILM POSTER PRINTER 4000をお買い上げいただき、ありがとうございました。

本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はいつでもご利用できるよう装置のそばに置き、大切に保管してください。

保証と補修用性能部品について

保証について

保証書に、必ずお買い上げ日・販売店名などが記入されていることをご確認ください。

故障に際して、「保証書」の提示がございませんと保証期間内でも有料修理となりますので、保証書の記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保証期間は、製造打切後7年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品をいいます。

この保証期間は、通商産業省の指導によるものです。

この取扱説明書の中で❗️⚠️と表記されている事項は、安全にご使用頂くために注意していただくマークです。取扱説明書の指示を必ずお守りください。

熱転写紙とHDペーパー[※]の使用済みインクフィルム、HDペーパー[※]の受像紙は、産業廃棄物となります。

廃棄の際は、お持ちの処理設備で処理されるか、許可を得た「専門の処理業者」に委託して、処理してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

※注）HDペーパーは販売終了商品です。

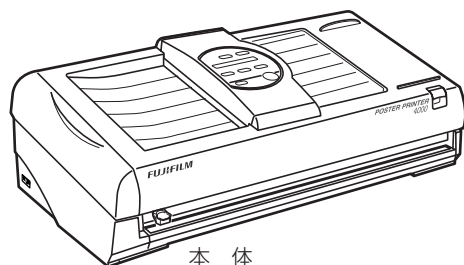
目 次

目 次	1	7.読み取り／プリント領域	32
1.お使いになる前に	2	■読み取り領域	32
■付属品の確認	2	■プリント領域	32
■開梱時の注意	2	8.記録紙について	33
■設置スペース	3	■種類と特長	33
■電源コード接続	3	■種類／サイズ一覧	33
■安全上のご注意	4	■取扱上のご注意	34
■正しくお使いいただくためのお願い	6	■熱転写紙とHDペーパーのインクフィルムのはがし方	34
■本機の特長	8	9.こんなときには	35
2.各部の名称	10	■メッセージの内容及び対応	35
■前 面	10	■こんなトラブルのときには	36
■背 面	10	10.清掃方法	38
■スキャナー部	11	■プリンター部	38
■プリンター部	11	■スキャナー部	39
■操作パネル	12	仕 様	40
3.プリントを行う前に	14	索 引	41
■記録紙を本体にセット(A1サイズの記録紙の場合)	14		
■カッターの正しい使い方	14		
4.基本的な使い方	16		
■標準及び高速モードでのプリント	16		
■写真モードでのプリント	18		
■反転モードでのプリント	19		
5.各種サイズのプリント	20		
■部分拡大プリント	20		
■拡大シートの作り方	22		
■分割プリント	24		
■記録紙サイズより小さいサイズのプリント	26		
■長尺原稿からのプリント	27		
6.その他の機能	28		
■条件設定モード	28		
■ペーパー残量モード	30		

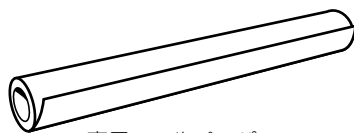
お使いになる前に

付属品の確認

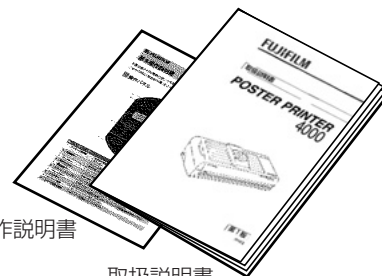
開梱に際しては必ず本体及び付属品のあることを確認してください。



本体

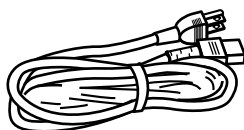


専用ロールペーパー
(A1直接感熱紙)

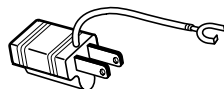


基本操作説明書

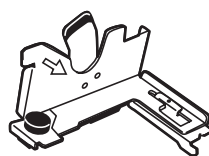
取扱説明書



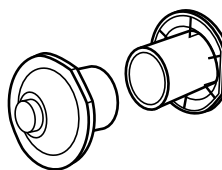
電源コード (1本)



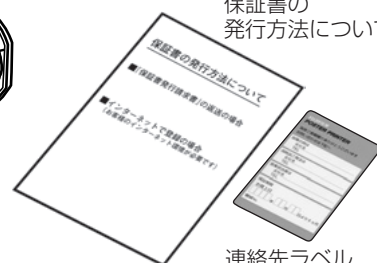
アダプタ



フランジガイドユニット



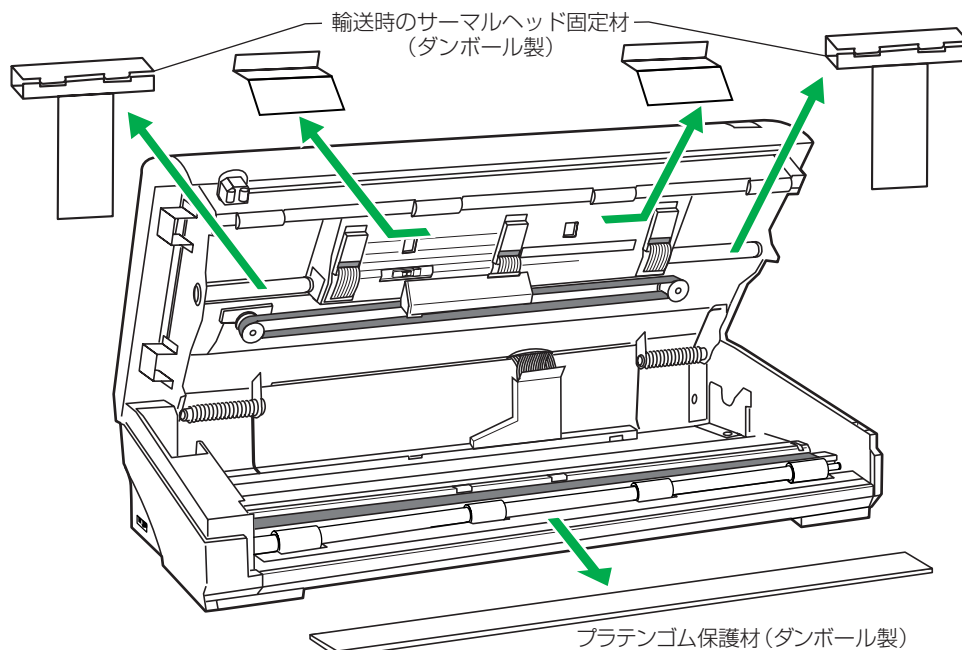
フランジ (2個)



保証書の
発行方法について

連絡先ラベル

開梱時の注意

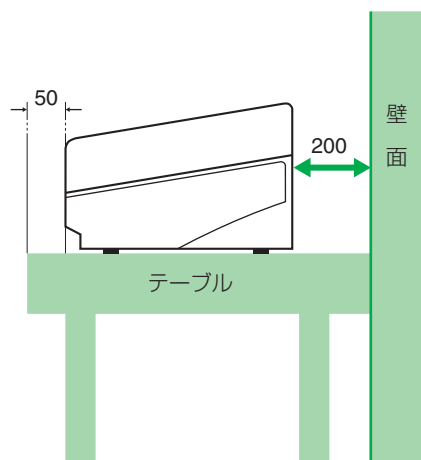
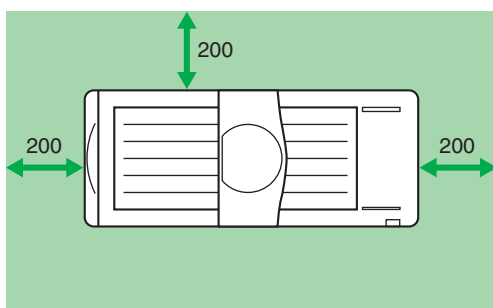


！ 注意

- 電源を入れる前に必ず、サーマルヘッド固定材(ダンボール製)、プラテンゴム保護材(ダンボール製)を取り除きご使用ください。
- 輸送する場合には、サーマルヘッド固定材、プラテンゴム保護材を取り付けてください。

設置スペース

機械の性能を維持するために、下図のような設置スペースを確保してください。(単位：mm)
弊社では、専用スタンド(オプション)を用意しておりますのでご利用をおすすめします。

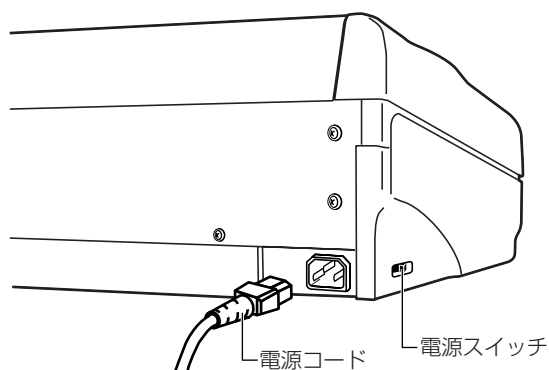


⚠ 注意

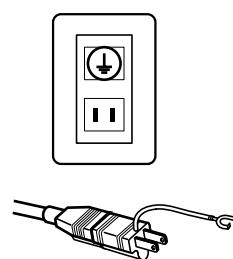
本体は重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

電源コード接続

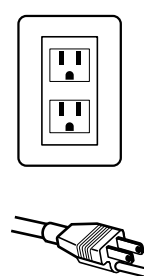
本体に電源コードを接続します。



電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。



2Pコンセントの場合
本体付属品のアダプタ
をご使用ください



3Pコンセントの場合

⚠ 注意

1. 電源コードを接続する場合は、必ず本体側から接続してください。
2. アース線は必ずアース端子に接続してください。

安全上のご注意

POSTER PRINTER 4000を正しく安全にお使いいただくために

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

指示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度は、次の表示で区分されています。



警告

この表示欄には、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」指示が記載されています。



注意

この表示欄には、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」指示が記載されています。

お守りいただく具体的内容は、次の絵表示で区分されています。(下記は絵表示の一例です。)



してはいけない「禁止」指示です。

○の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。



必ず実行していただく「強制」指示です。

●の中や近くに具体的な指示内容が描かれています。

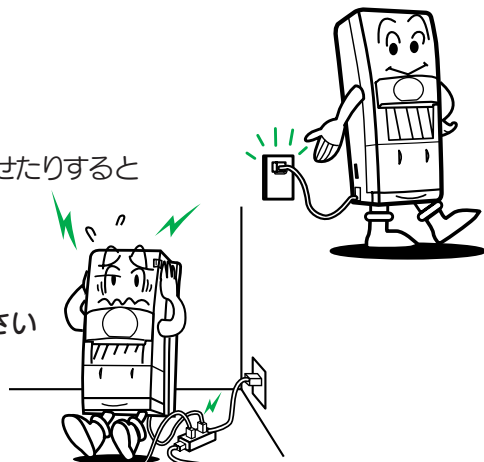


警告



禁 止

- 指定以外の電源は使わないでください
火災、感電の恐れがあります。
▶ 定格100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードを傷つけないでください
傷つけたり、破損したり、加工したり、重いものを乗せたりすると
火災、感電の恐れがあります。
- タコ足配線をしないでください
火災、感電の恐れがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください
感電の恐れがあります。
- カバーを外さないでください
感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く

- 電源コードを引っばらず、電源プラグを持って抜いてください
引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電の恐れがあります。
- 異常(発熱・発煙・異臭など)が発生した場合は、すぐに本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください
そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
▶ お買い上げの販売店に連絡してください。
- 異物(金属片・水・液体)が機器の内部に入った場合は、本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください
そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
▶ お買い上げの販売店に連絡してください。





アース線接続

■ 必ず、アース線接続を行なってください

接地接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行なってください。又、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行なってください。
漏電した場合は、火災、感電の恐れがあります。

▶ アース線接続ができない場合は、お買い上げの販売店に相談してください。



分解禁止

■ 絶対に分解や改造をしないでください

火災、感電の恐れがあります。

▶ 故障の場合は、本体の電源を切り電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

⚠ 注意



禁止

■ 不安定な場所に置かないでください

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 通気孔をふさがないでください

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■ 機器の上に花瓶・植木鉢・コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください

水などがこぼれて本体にかかったり、内部に金属物が入ると、火災、感電の原因となることがあります。

▶ お買い上げの販売店に連絡してください。

■ 湿気やほこりの多い場所では使わないでください

火災、感電の原因となることがあります。

■ 通気孔から異物（金属類や燃えやすいものなど）を機器の内部に差し込んだり、押しこんだりしないでください

火災、感電の原因となることがあります。

■ 機器の上に重いものを置かないでください

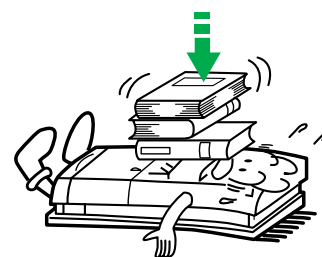
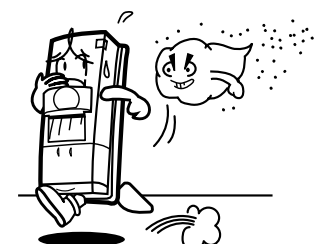
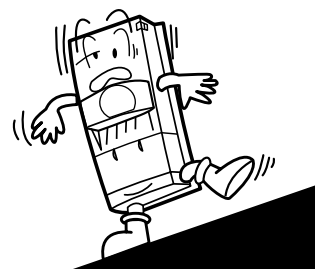
落ちて、けがの原因となることがあります。

■ 持ち運びは無理をしないでください

開梱や持ち運びは必ず2人以上で行なってください。けがの原因となることがあります。

■ 本機及びスタンドを無理に押ししたり傾けたりしないでください

倒れて、けがの原因となることがあります。



電源プラグを抜く

■ 落としたり、カバーを破損した場合は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください

そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

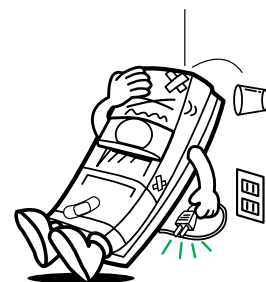
▶ お買い上げの販売店に連絡してください。

■ 機器を移動させる場合は、必ず本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください

コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

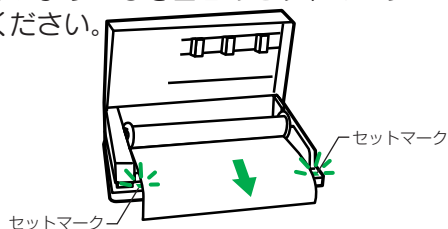
■ 連休などで長期間使用しないときは、本体の電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください

漏電により、火災の原因となることがあります。



正しくお使いいただくためのお願い

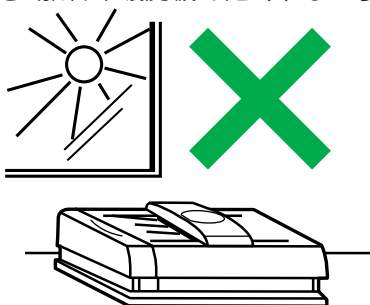
- 記録紙のセットは先端部をまっすぐに引き出し、たるみのないようにして左右のセットマークに合わせてください。



- プリント中は特にプリンターカバー、スキャナーカバーを強く押しつけないでください。
- プリント中に記録紙を引張らないでください。プリント品質への影響を及ぼします。

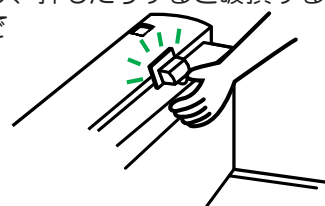


- 直射日光の当たる場所、冷暖房機の近くやほこりの多い場所には、置かないでください。

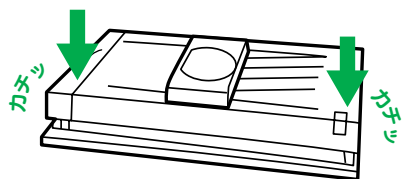


- 通常の使用ではカッター刃は露出しないように作られているので安全ですが、プリンターカバーを開けた状態でカッターレバーを押し下げるとカッター刃が露出しますのでけがをしないよう注意してください。

- カッターは樹脂で作られています。無理に引っばったり、押し下ると破損することがありますので注意してください。

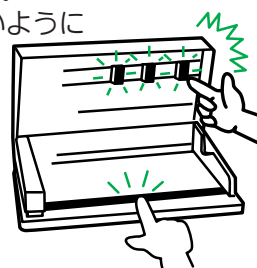


- プリンターカバーは、両端をゆっくり押して、両端を確実に閉めてください。
- プリンターカバー開閉時には、電源をお切りください。

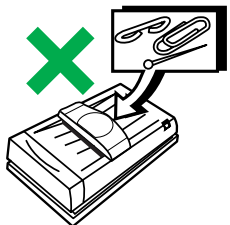


- プリント直後のサーマルヘッドは熱を持っていますので、注意してください。

- プラテンゴムを傷つけないように注意してください。また、プラテンゴムの表面をアルコールなどの溶剤で拭かないでください。

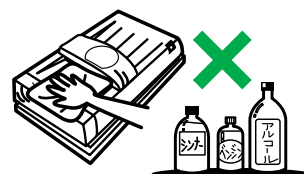


- 機器内に、ピン、クリップなどの異物をいれないでください。



- イニシャライズ中及び、プリント動作中に電源スイッチを切り、そのまま放置すると印字不良の原因となります。
- 電源スイッチを切る場合は、必ず「コピーできます」表示が点灯している状態で行ってください。

- お手入れの際は、柔らかい乾いた布を使用してください。
- 研磨剤入りのクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールなどは使わないでください。
(変形、変色の原因となることがあります。)
- サーマルヘッドを清掃する場合は無水エタノール以外は絶対に使用しないでください。

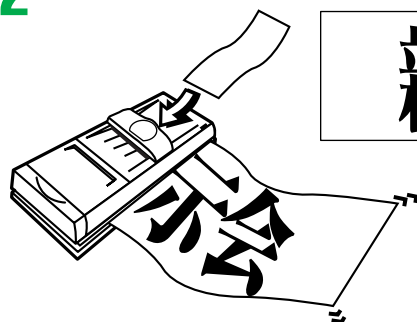


本機の特長

1 初めての方にも素早く簡単に、A4原稿から高画質の拡大プリントが出来ます。



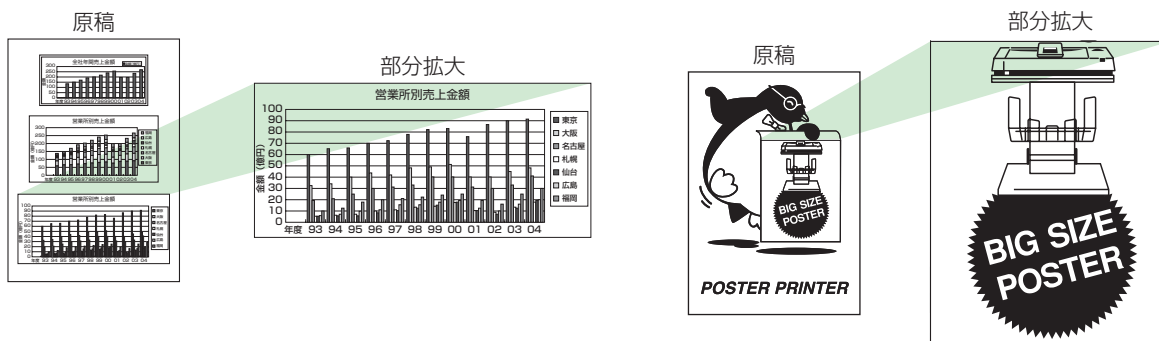
2 長尺原稿も同じ操作で、横断幕・立て看板が簡単につくれます。



新製品発表展示会



3 部分拡大プリント機能で、原稿の一部分から簡単に拡大プリントが出来ます。

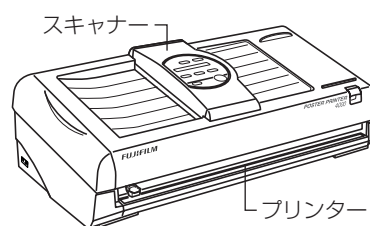


- 4** A1、A2幅の記録紙が使用できますので、目的に合ったサイズの拡大プリントが作れます。
(貼り合わせによりA0、A0×2でも可能です)



- 5** 用途に合わせた各種、各色の記録紙がそろっています
- 直接感熱紙
ランニングコストが安く、室内での使用に適しています。
 - 熱転写紙
普通紙タイプの記録紙です。画像の変色が少なく長期の掲示に適しています。

- 6** プリンターとスキャナーが一体型で小型軽量、小さなスペースでも設置可能です。

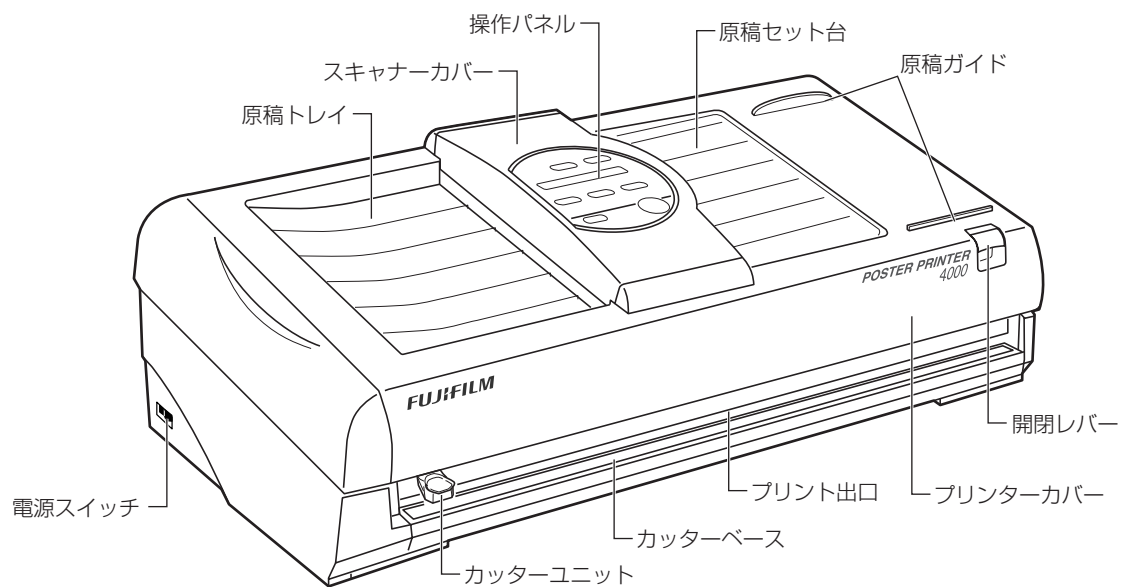


- 7** インターフェイスキットを取り付けると、パソコンからプリントができます。

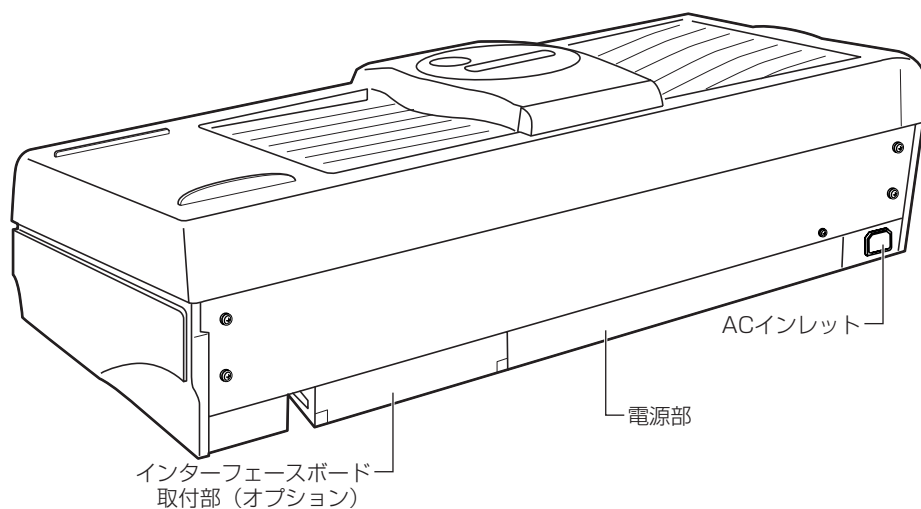
- 8** プリントサーバを取り付けるとネットワークのプリントができます。

各部の名称

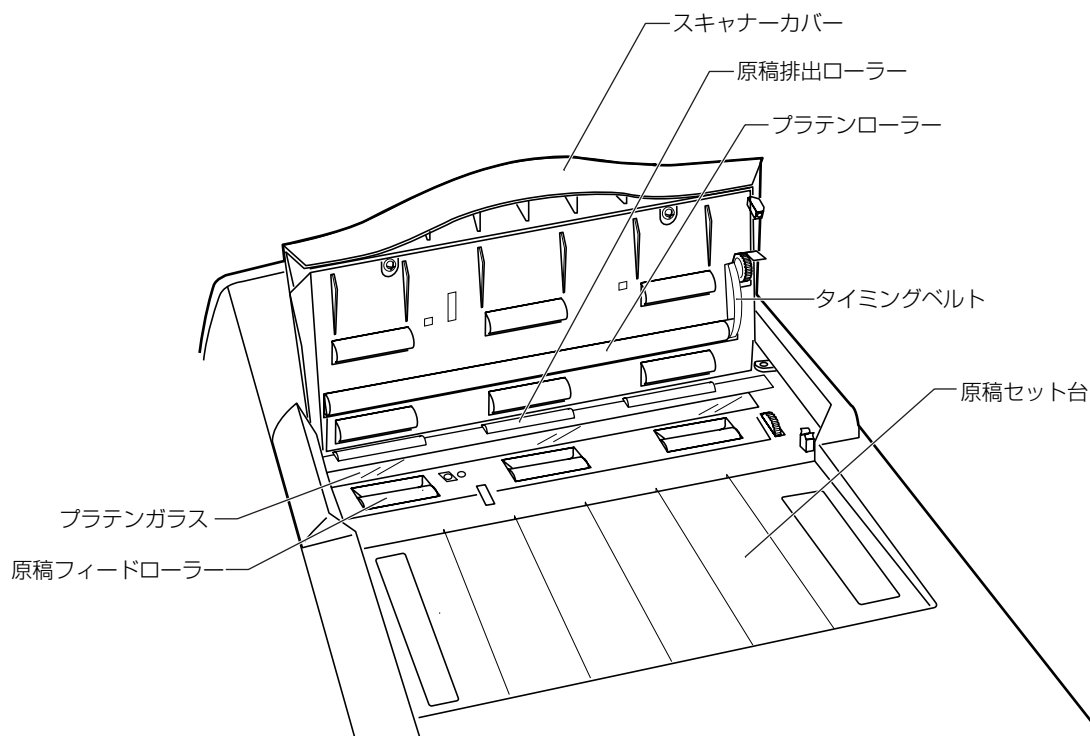
前面



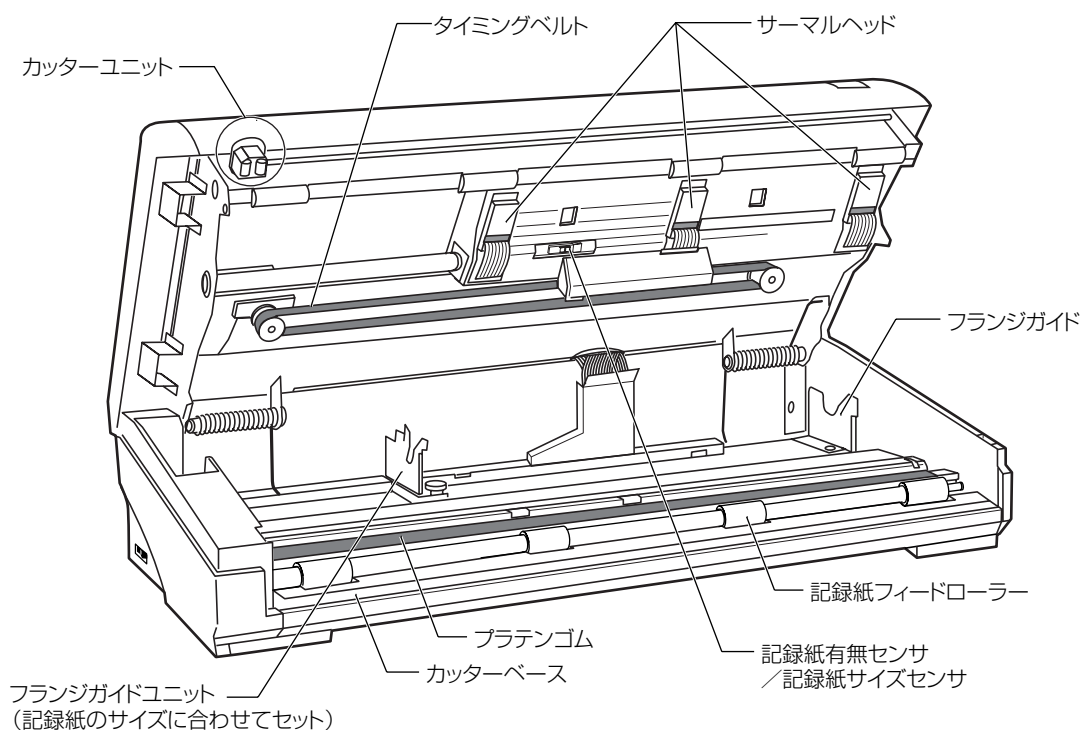
背面



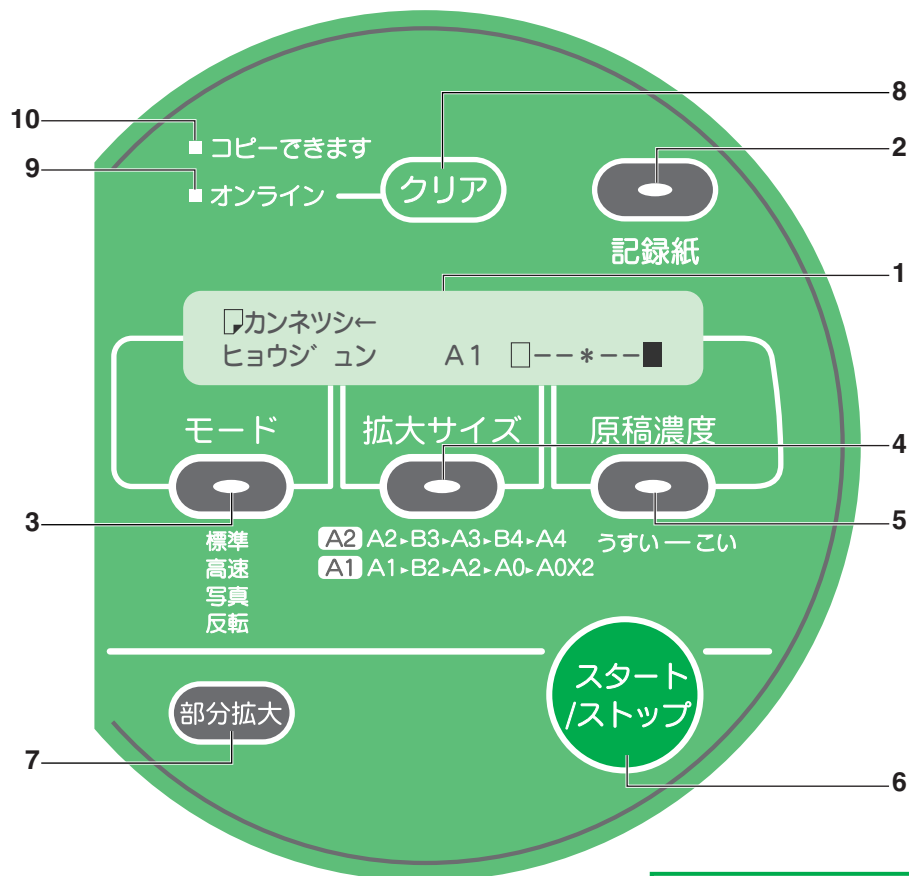
スキャナー部



プリンター部



操作パネル



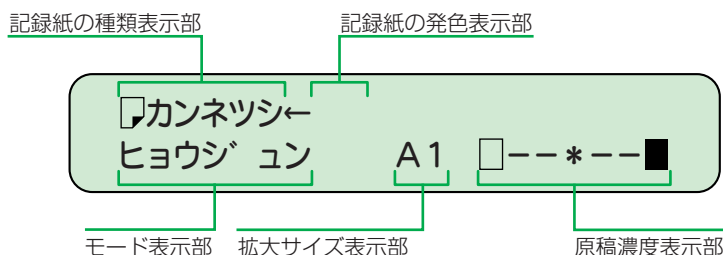
！ 注意

ご使用の前にパネルの保護シートをはがしてください。

No.	名 称	は た ら き
1	メッセージ表示部	記録紙の種類・発色、モード、拡大サイズ、原稿濃度、動作状態やエラーの内容などを表示します。
2	記録紙キー	セットした記録紙の種類をカンネツシ/テンシャシ/HDシ [※] の順に設定します。設定が違っていると正常な濃度にプリントされません。
3	モードキー	プリントするモードをヒョウジュン/コウソク/シャシン/ハンテンの順に設定します。
4	拡大サイズキー	プリントする拡大サイズを設定します。
5	原稿濃度キー	原稿の濃度に合わせ設定します。
6	スタート/ストップキー	プリントをスタートするとき、または途中でストップするときに押します。
7	部分拡大キー	指定した原稿の一部を拡大プリントするときに押します。
8	クリアキー	主にオンライン使用時に使用します。(オンラインの取扱説明書を参照ください)
9	オンライン表示	オンラインプリント時に点灯します。
10	コピーできます表示	点灯している状態でプリントできます。

※注) HDシ(HDペーパー)は販売終了商品です。

メッセージ表示部の内容



記録紙について

記録紙の種類と設定

直接感熱紙(カンネツシ)・熱転写紙(テンシャシ)が準備されています。

用途に合わせ使用してください。

☞P33「記録紙について」参照

●直接感熱紙

ランニングコストが安く、室内での使用に適しています。

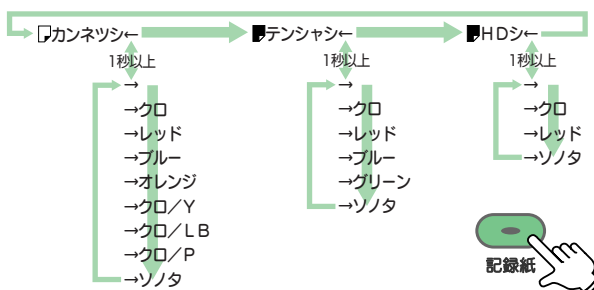
●熱転写紙

普通紙タイプの記録紙です。画像の変色が少なく長期の掲示に適しています。

記録紙の発色の表示方法について

- セットされている記録紙の発色を確認できるようにするための機能です。
- 記録紙の種類を表示した状態で、記録紙キーを1秒以上押し続けると、矢印の向きが右側になり、記録紙の発色を表示するモードになります。
更に記録紙キーを短く押すごとに表示している色を変えることができ、1秒以上押し続けると矢印の向きが左側になります。
- 発色を表示した状態で印字動作を実行すると発色が確定されます。

☞P33「記録紙について」参照



※記録紙種類は変更になる場合があります。

モードについて

モード	表示部	使用原稿
標準	ヒョウジュン	通常の文字原稿の場合に使用します。
高速	コウソク	通常の文字原稿を高速にプリントする場合に使用します。(写真・反転はできません)
写真	シャシン	写真原稿の場合に使用します。
反転	ハンテン	白黒を反転させてプリントする場合に使用します。

拡大サイズについて

本体にセットされている記録紙のサイズにより次の順に設定されます。

記録紙のサイズ	拡大サイズ
A2	A2→B3→A3→B4→A4
A1	A1→B2→A2→A0(■)→A0(□) →A0×2(■)→A0×2(□)

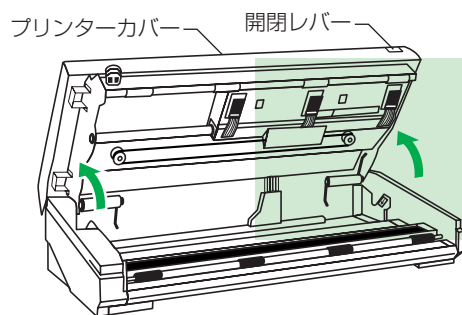
原稿濃度について

* マークの位置により、5段階の濃度に設定できます。

表示部	原稿濃度
□ --- * --- ■	ふつうの原稿の場合に設定
□ ---- * --- ■	ややこい原稿の場合に設定
□ ----- * --- ■	こい原稿の場合に設定
□ * ----- ■	うすい原稿の場合に設定
□ - * ----- ■	ややうすい原稿の場合に設定

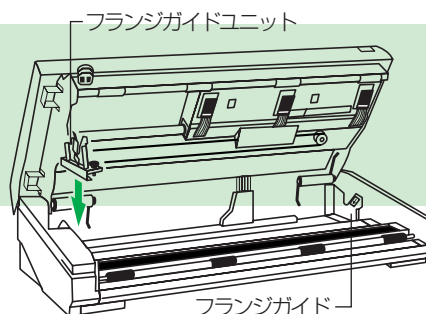
記録紙を本体にセット(A1サイズの記録紙の場合)

- 1** 開閉レバーを解除し、プリンターカバーを止るまで静かに開けます。



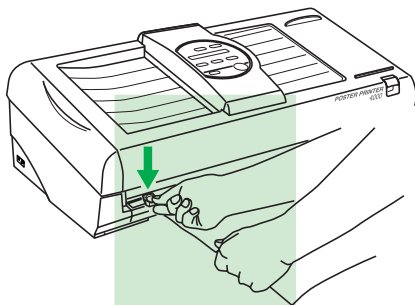
- 2** フランジガイドユニットをA1サイズに合わせ、セットします。

(次ページの「フランジガイドユニットの取扱い」を参照)

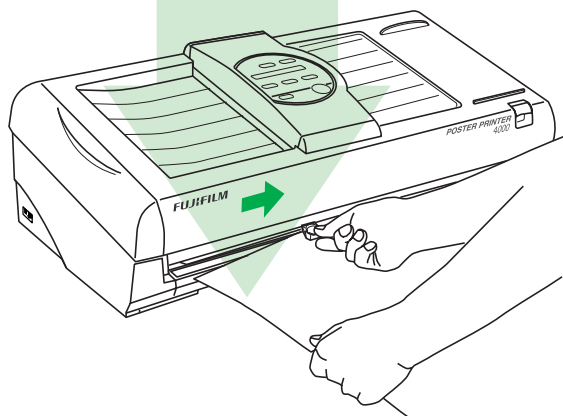


カッターの正しい使い方

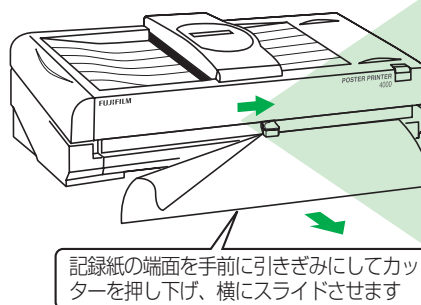
- 1** カッターのつまみを軽く押し下げ、カッターに近い部分の記録紙の端面を指で押さえます。



- 2** カッターを軽く押し下げたまま、スライドさせ、記録紙をカットします。



- 7** 記録紙をカットします。



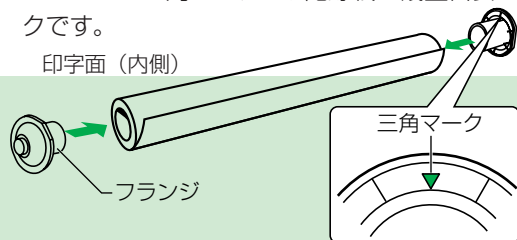
カッターは強く押しても切れ方には変わりありません。
軽く押し下げて使用してください。
カッターは左右いずれの方向でもカットできます。

⚠ 注意

プリンターカバーを開けた状態でカッターを押
下げますとカッター刃が露出しますのでケガを
しないようにご注意ください。

3

記録紙の両端にフランジを取付けます。
フランジの三角マークは、記録紙の残量目安のマークです。

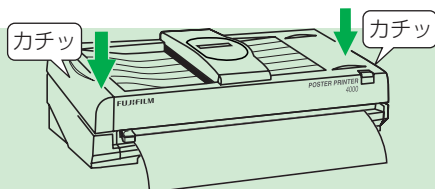


マーク先端からの残量

直接感熱紙 ……………約6m
熱転写紙 ……………約8m

6

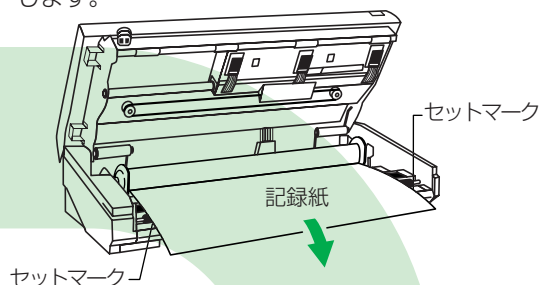
プリンターカバーの両端を持ってをゆっくりと確実に閉めます。
両端が完全に閉まったことを確認してください。



電源を入れた状態でプリンターカバーを開閉すると、初期動作を行い、記録紙を約45mm自動的に排出します。

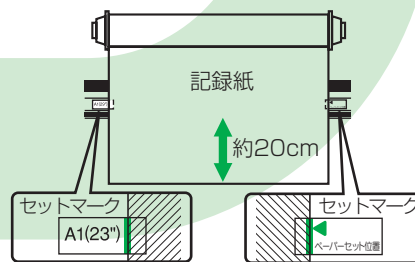
4

本体に記録紙をセットします。
図のように記録紙の先端部分を下側にし、セットします。



5

記録紙を正しくセットマークに合わせます。
図のように記録紙の先端部を約20cmまっすぐに引き出し、たるみのないように引っ張りながら左右のセットマークに合わせます。

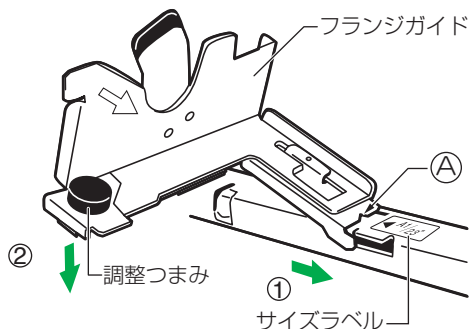


記録紙が正しくセットされていないと、画像が斜めにプリントされたり、シワが発生することがあります。

フランジガイドユニットの取扱い

本体へのセット方法

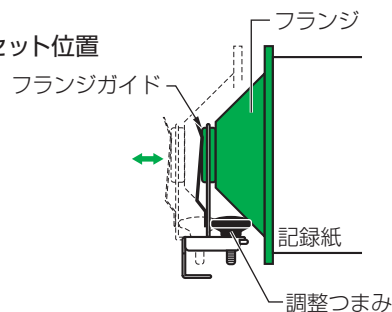
①の部分をサイズラベルの◀マークに合わせるようにして①→②の順でセットします。



フランジガイドの調整

フランジを取付けた記録紙がフランジガイドに入らなかったり、外れてしまう場合、調整つまみをゆるめフランジガイドを左右に動かして、記録紙が正常にセットできる位置で固定します。

正しいセット位置



標準及び高速モードでのプリント

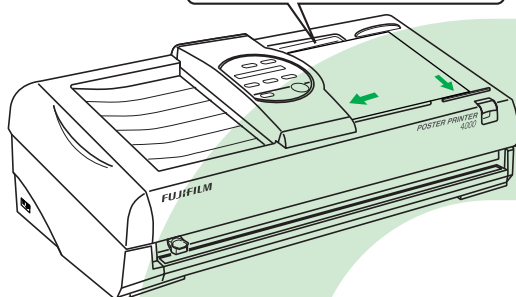


原稿



6 スキャナーに原稿を下向きにしてセットします。

原稿は手前の原稿ガイドに寄せ
確実に奥まで差し込みます



5 原稿濃度キーで原稿濃度を設定します。

□カンネツシー
ヒョウジ ユン

A1 □--*--■

原稿濃度



薄めの原稿:「ややうすい」に設定 (□-*---■)

・鉛筆書した原稿のように文字や画像自体がややうすい場合

濃いめの原稿:「ややこい」に設定 (□---*-■)

・新聞のように紙の色自体がやや黒っぽい場合

7 スタート/ストップキーを押します。
原稿が読み込まれ、プリントが開始されます。

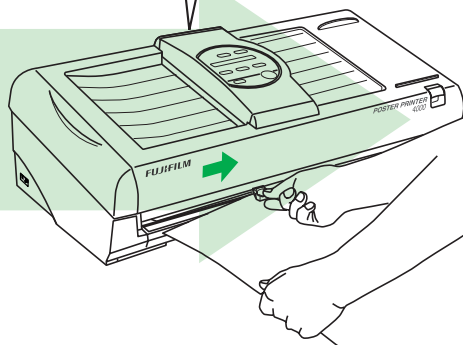
スタート
/ストップ



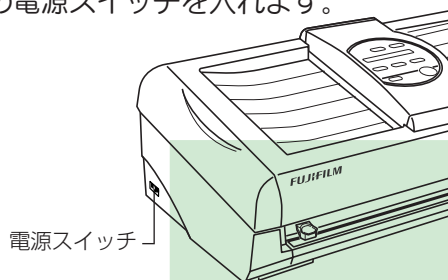
プリントを途中で中止したい場合は、スタート/ストップキーを押します。

8 記録紙をカットします。

記録紙の端面を手前に引きぎみにしてカッターを押し下げ、横にスライドさせます



- 1 本体の電源スイッチを入れます。



❗ 注意

イニシャライズ中及びプリント途中では、電源を切らないでください。

- 2 記録紙キーで、記録紙の種類を選びます。
本体にセットされている記録紙の種類に合わせます。

記録紙の種類を表示します

□カンネツシー
ヒョウジ ユン

A1 □--*--■



❗ 注意

本体にセットされている記録紙の種類に正しく設定しないと正常な濃度で印字されません。

- 4 拡大サイズキーで希望するサイズを選びます。

□カンネツシー
ヒョウジ ユン

A1 □--*--■

拡大サイズが表示されます

拡大サイズ



- 3 モードキーで標準モードを選びます。

□カンネツシー
ヒョウジ ユン

A1 □--*--■

モードが表示されます

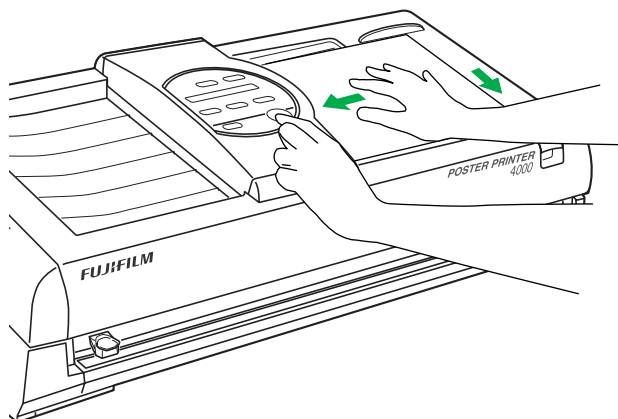
モード



❗ 注意

高速モードは、標準モードに比べ、若干濃度が薄くなる場合があります。

スタート/ストップキーを押しても原稿が送られず、「ゲンコウナシ マタハ ハンソウフリョウ」が発生した場合



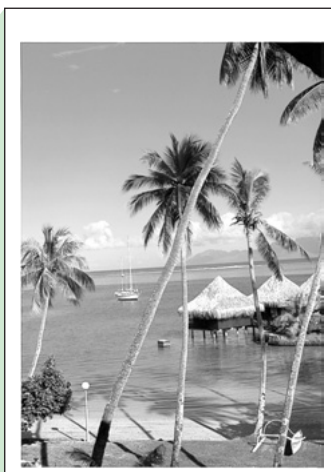
- ① スタート/ストップキーを押します。
- ② 原稿を挿入方向に軽く突き当てながら、スタート/ストップキーを押します。

原稿を奥に突き当たるまで差し込まないと、エラーが発生することがあります。

写真モードでのプリント



原稿



写真モード

- 1 記録紙キーで記録紙の種類を選びます。

記録紙の種類を表示します

□カンネツシー
ヒョウジ ユン A1 □--*--■

記録紙

- 2 モードキーで写真モードを選び、拡大サイズと原稿濃度を設定します。

□カンネツシー
シャシン A1 □--*--■

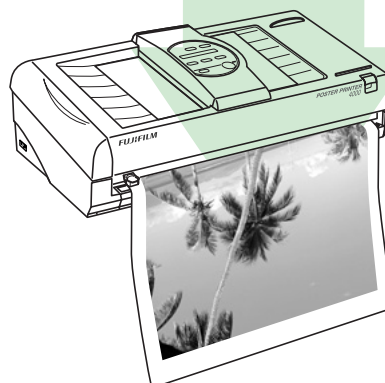
シャシンと表示されます

モード

写真モードでの注意

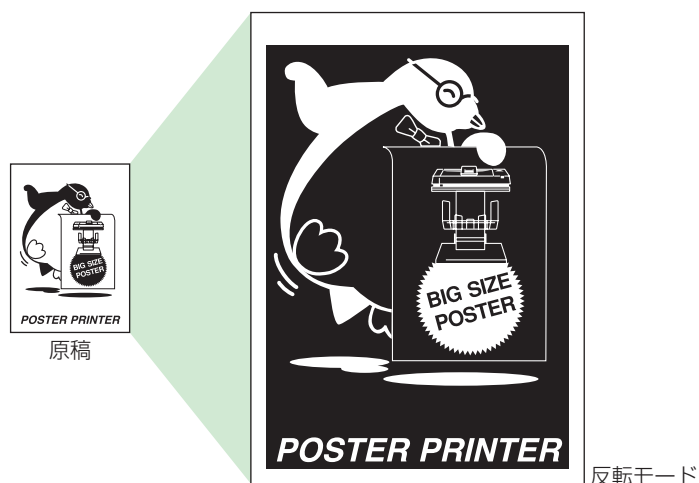
- 文字部分の濃度が若干うすくなることがあります。その場合は原稿濃度を「やややすい」に設定してください。
- プリントの白い部分にドット状のヨゴレのような物が発生することがあります。その場合は原稿濃度を「ややこい」に設定してください。
- プリント上に周期的にタテ、ヨコの線が発生することがありますが異常ではありません。
- カラー写真等からプリントする場合、黄色い部分の再現性が悪くなることがあります。
- 熱転写紙の場合はややコントラストが高くなります。

- 3 原稿をセットして、スタート/ストップキーを押します。

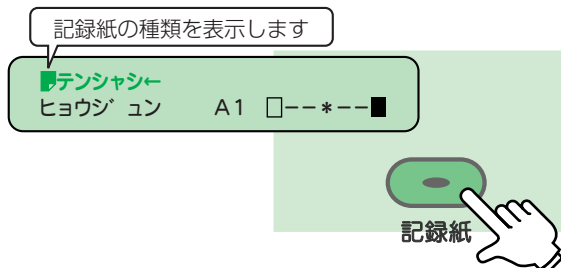


スタート
/ストップ

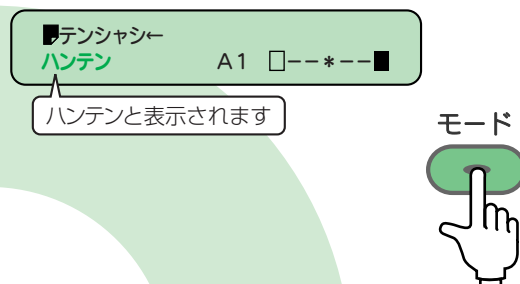
反転モードでのプリント



- 1 記録紙キーで記録紙の種類を選びます。



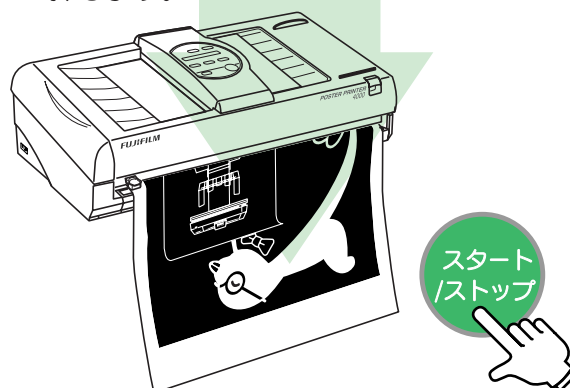
- 2 モードキーで反転モードを選び、拡大サイズと原稿濃度を設定します。



反転モードでの注意

- サーマルヘッドの温度を検出して、スピードをコントロールしています。
このためプリント途中でスピードが遅くなることがあります。
(メッセージ表示部には、「テイソクモード ドウサチュウ」と表示されます。)

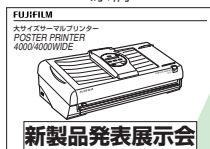
- 3 原稿をセットして、スタート/ストップキーを押します。



部分拡大プリント

原稿の一部分を簡単に拡大プリントします。

原稿

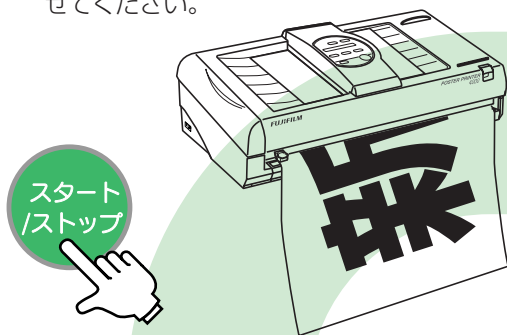


部分拡大

新製品発表展示会

5

- 6** スタート/ストップキーを押します。
原稿が読み込まれて指定した拡大領域を拡大します。複数枚を印字する場合は再度原稿を読み込ませてください。

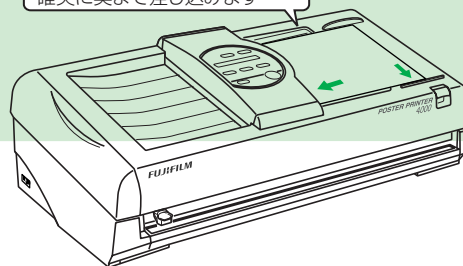


5

- 5 スキャナーに原稿を下向きにセットします。

□カンネツシ *ゲ ンコウ→スタート
ヒョウジ ユン A1 □--*--■

原稿は手前の原稿ガイドに寄せ
確実に奥まで差し込みます



- 7** 部分拡大機能を解除します。
部分拡大キーを押すと拡大シートの読み取りデータを解除し、通常印字の状態に戻ります。

□カンネツシ *ゲ ンコウ→スタート
ヒョウジ ユン A1 □--*--■

部分拡大

カクダ イシートデータ クリアチュウ

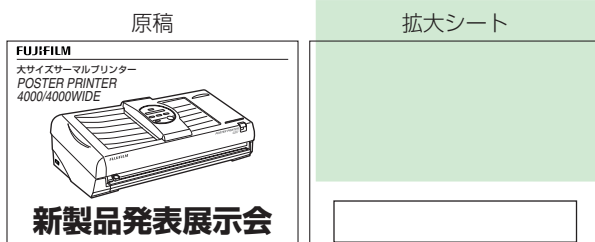
□カンネツシ
ヒョウジ ユン A1 □--*--■

部分拡大プリントでの注意点

- 分割プリントはできません。
- 部分拡大プリントが可能な領域は幅50mm～194mm、長さ50mm～1988mmです。

📖 P22 「拡大シートの作り方」参照

1 拡大シートを作ります。



☞ P22 「拡大シートの作り方」参照

2 部分拡大キーを押します。

☑カンネツシ※カクタ イシート→スタート
ヒョウジ ユン A1 ☐---*---■

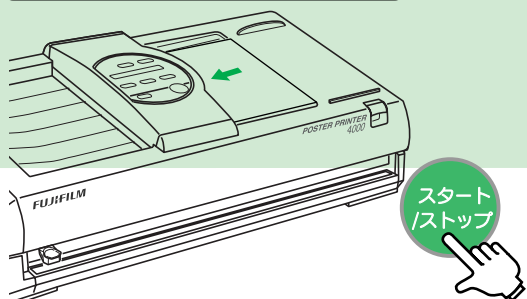
部分拡大



この状態から部分拡大キーを押すと通常印字の状態に戻ります。

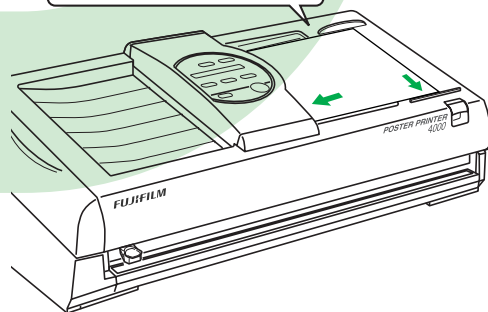
4 スタート/ストップキーを押します。 拡大シートが読み込まれます。

カクタ イシートデ ータ ヨミトリチュウ



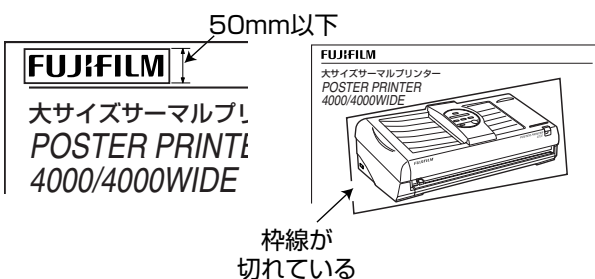
3 拡大シートをスキャナーにセットします。

拡大シートを下向きにして
手前の原稿ガイドに寄せ確
実に奥まで差し込みます



拡大シートの読み取り不良が出た場合

ヨミトリハンイ デ ータ エラー
リセット ストップ キー



拡大シートの枠線が小さすぎたり、読み取り領域外、枠線の濃度が薄い、閉じた枠線を認識できない場合に、読み取り異常を表示します。
ストップキーを押して、拡大シート読み取り前の状態に戻し、拡大シートを作り直して再度読み取ってください。

☞ P22 「拡大シートの作り方」参照

拡大シートの作り方

拡大シートとは、原稿の拡大したい部分を囲んで、読み取る領域を指定するためのシートのことをいいます。

1 原稿と同じサイズの白紙を用意します。



2 原稿の上に白紙の用紙を重ねます。



拡大プリント例



拡大シートサイズと仕上がりプリントサイズ算出手順

手順1. 拡大率を算出

記録紙の最大プリント幅 (X1) ÷ X (拡大シート幅)

= A (X → X1の拡大率)

記録紙の最大プリント幅は表1を参照してください。

手順2. 拡大シート長の算出

プリントしたい長さ (Y1) ÷ A (X → X1の拡大率)

= Y (拡大シート長)

拡大シート作成例

原稿の「新製品発表展示会」の部分を使ってA1記録紙に長さ3mの横断幕を作成する場合の拡大シートの作成方法

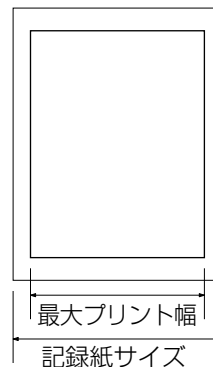
手順1. 拡大率を算出

549mm (A1記録紙プリント幅) ÷ 50mm (X) とした場合

= 約10.9 (拡大率)

手順2. 拡大シート長の算出

3m (Y1) ÷ 10.9 (拡大率) = 275mm (拡大シート長)

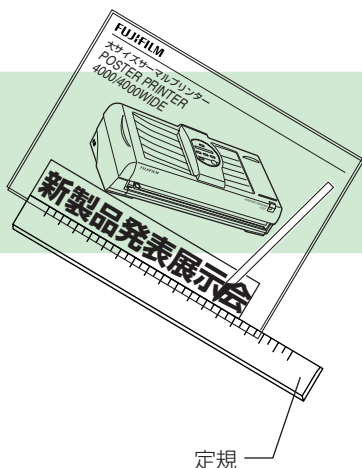


(表1)

記録紙サイズ	最大プリント幅
A2	359
A1	549

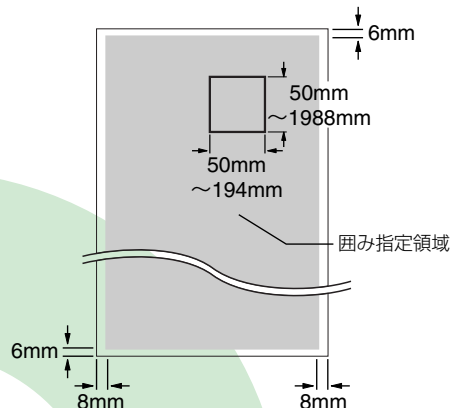
* 表値は標準的な数値です。
拡大シートの送り、原稿の送り、記録紙の送りなどにより変動します。

- 3** 拡大プリントしたい部分を黒いペンで囲みます。
(50mm×50mm以上で囲んでください)



- 黒線は濃く0.3mm以上の線で描いてください。
- 使用するペンは、にじみの少ないものをご使用ください。
- 拡大シートは、1カ所のみの囲みを指定してください。

- 拡大シートに囲みできる領域は次の通りです。

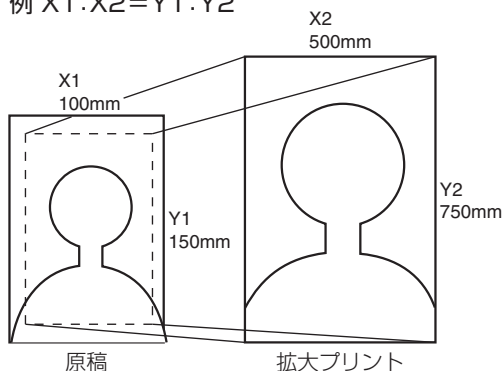


- 囲み線は文字の部分から5mm以上離してください。
- ペンの始点と終点を閉じてください。閉じない囲み方は囲み部分が認識されません。
- 読み取り可能な原稿サイズは最大、幅210mm、長さ2000mmです。
- 拡大シートの囲み領域は幅50～194mm、長さ50～1988mmです。

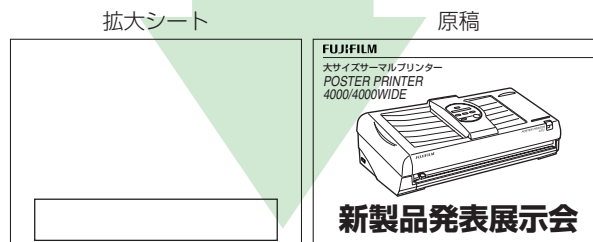
囲み指定エリアと拡大プリントの関係

囲み指定エリアの横幅が拡大プリント幅になります。プリント長はプリント幅の拡大率に応じて拡大されます。

例 $X1:X2=Y1:Y2$



- 4** 拡大シートのできあがり。

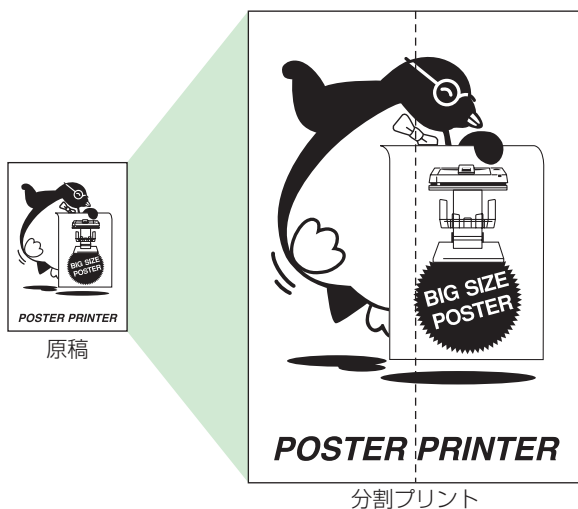


分割プリント

1枚の原稿を2回に分けてプリントすることを「分割プリント」といいます。

A1記録紙のA0, A0×2サイズが分割プリントとなっています。

A1サイズの記録紙を使って A0×2サイズにプリントする場合



- 1 記録紙、モード、原稿濃度を設定した後、拡大サイズキーを押して拡大サイズをA0×2■に設定します。

□カンネツシー
ヒョウジ ユン A0×2■□---*---

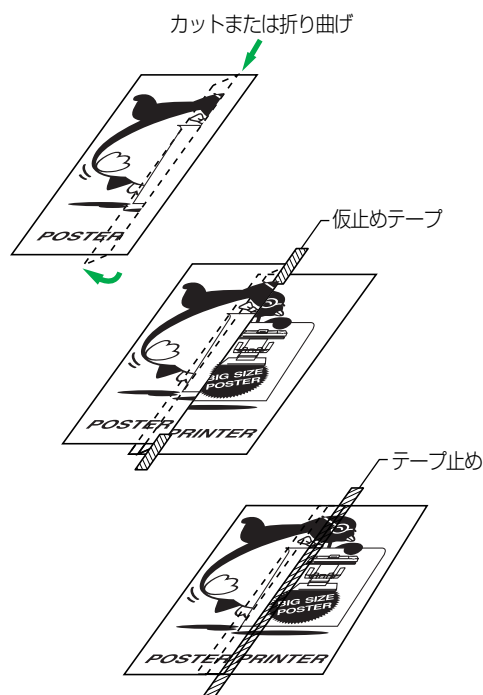
拡大サイズ



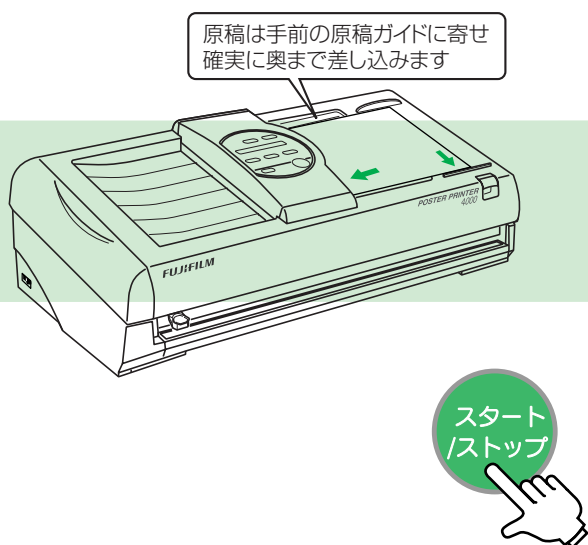
貼り合わせ参考例

1. 片方のプリントのカットマーク2ヶ所に合わせて、余白部分をカットまたは折り曲げます。
2. カットした側のプリントをもう片側のプリントのカットマークに合わせ、画像をつなげます。
重ね合わせた両端をテープで仮止めします。
3. 仮止めテープの上から長めのテープを貼り、不要なテープは後で処理します。

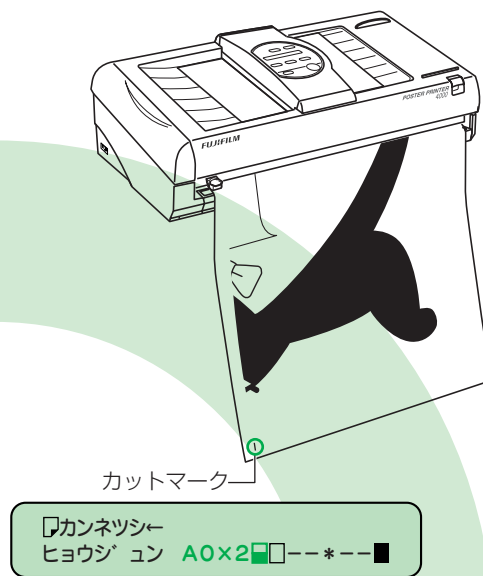
- 貼り合わせテープの種類によっては、画像が変色したり、うすくなる場合があります。
- カットマークはカット時の目安となるものです。
- 左右の画像合わせが若干ズル場合がありますが、その場合は画像を主体に合わせてください。



- 2** 原稿をセットして、スタート/ストップキーを押します。



- 3** 原稿の左半分がプリントされます。プリント後カットします。プリントが終わるとメッセージ表示部の拡大表示は、A0×2■に自動的に切り替わります。

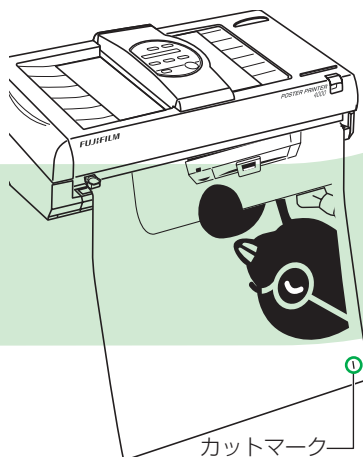


- 6** 2枚の分割プリントを貼り合わせます。



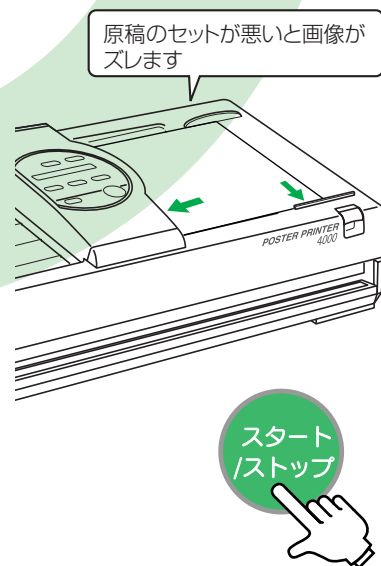
原稿の右半分のみプリントしたい場合は、拡大サイズキーで、拡大サイズをA0×2■に合わせてスタート/ストップキーを押します。

- 5** 原稿の残り右半分がプリントされます。プリント後カットします。



分割プリントをする場合は、自動的にカットマークが印字されます。

- 4** 再度同じ方向に原稿をセットして、スタート/ストップキーを押します。

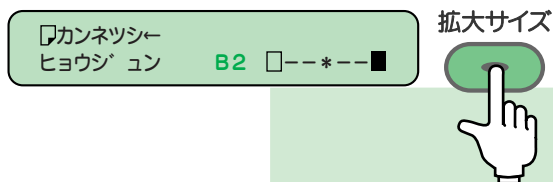


記録紙サイズより小さいサイズのプリント

記録紙幅より小さいサイズのプリントをする場合の操作です。

A1サイズの記録紙を使ってB2サイズにプリントする場合

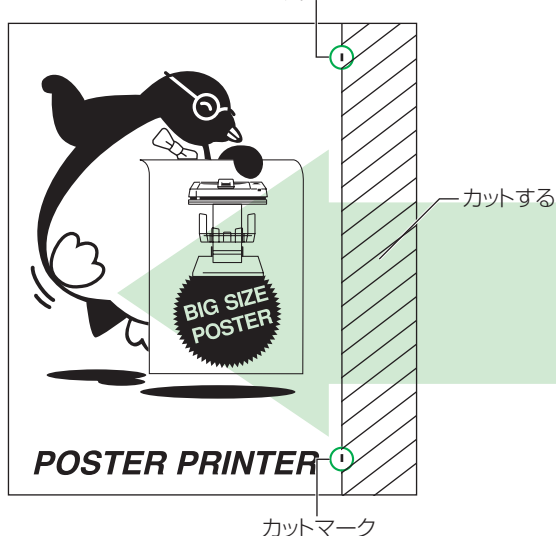
- 1** 記録紙、モード、原稿濃度を設定した後、拡大サイズキーを押して拡大サイズをB2に設定します。



- 2** 原稿をセットして、スタート/ストップキーを押し、プリントします。

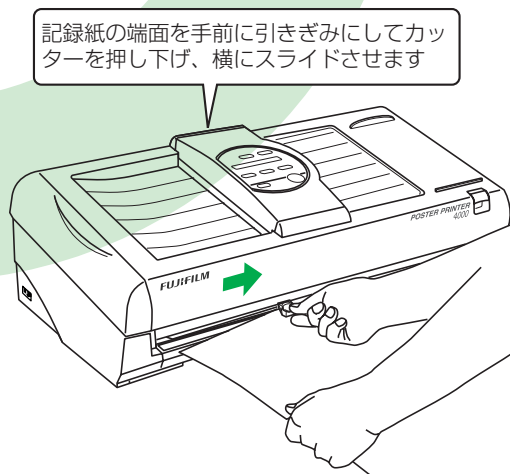


- 4** 2ヶ所のカットマークに合わせて、余白部分をカットします。カットマーク



記録紙幅より小さいサイズのプリントをする場合は、自動的にカットマークが印字されます。

- 3** 記録紙をカットします。



長尺原稿からのプリント

長尺原稿から、簡単操作で長尺プリントができます。

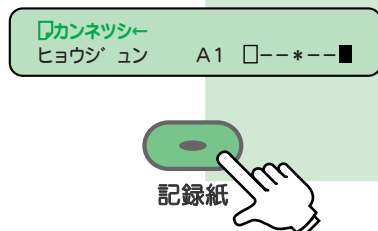
新製品発表展示会

長尺原稿

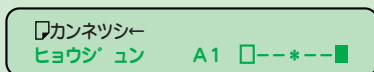
新製品発表展示会

長尺プリント

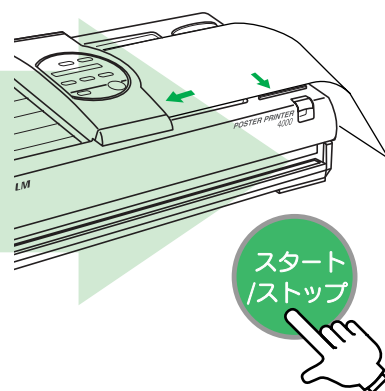
- 1** 記録紙キーで記録紙の種類を選びます。



- 2** モードキーで標準モードを選び、拡大サイズと原稿濃度を設定します。



- 3** 原稿をセットして、スタート/ストップキーを押します。

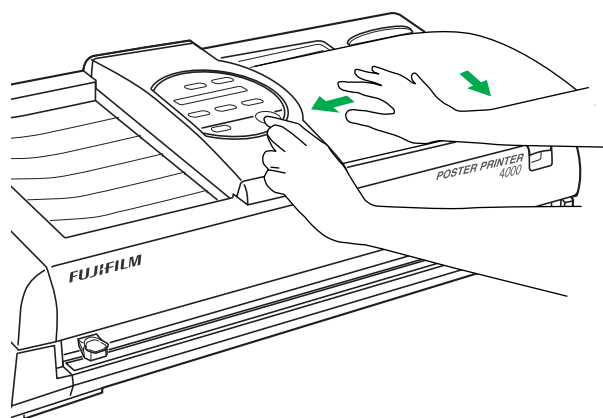


長尺原稿プリントでの注意

原稿を挿入方向に軽く突き当てながら、スタート/ストップキーを押します。

- 原稿を奥に突き当たるまで差し込まないと、エラーが発生することがあります。
- 長尺サイズプリントの場合は、特に原稿が斜めに入らないようにセットしてください。
- 長尺サイズの原稿を拡大プリントする場合は、記録紙の残量を確認してからプリントしてください。

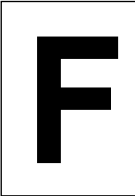
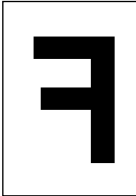
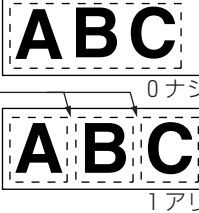
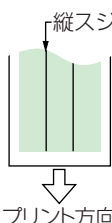
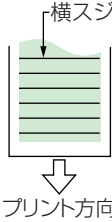
☞ P31 「記録紙の残量値の確認」参照



条件設定モード

本体の条件設定項目を変更することにより、印字機能の変更や印字品質の調整を行うことができます。

条件設定項目及び内容

設定項目／機能	LCD表示内容
通常のプリントを鏡に写したイメージ（ミラー）でプリントされます。  0 ノーマル  1 ミラー	カ・ゾ・ウムキ = 0 H モード：0ノーマル ノウト：1ミラー 0 正像でプリントします。（通常のプリント） 1 左右反転（鏡像）でプリントします。 初期値は0に設定してあります。
複数のシート原稿から横断幕や懸垂幕を作成する場合に、ページ間にできる空白（ギャップ）を無くしたプリントができます。 ①注意 ■ページ間ギャップ無しを選択した場合にはカットマークは印字されません。  原稿  余白部分 0 ナシ 1 アリ	ページギャップ = 1 H モード：0ナシ ノウト：1アリ 0 ページ間ギャップ無しでプリントします。 1 ページ間ギャップ有りでプリントします。 初期値は1に設定してあります。
プリント画像に縦方向のスジが目立つ場合に調整できます。 濃いめのスジが目立つ場合は、モードキーを押して値を減らすようにし、また白抜けしたようなスジが目立つ場合は、原稿濃度キーを押して値を増やすようにしてください。 但し、本体の機構上、スジを完全に無くすことは難しい場合がありますことをご了承ください。  縦スジ プリント方向	タテスジ チョウセイ = +0 H モード：ヘラス ノウト：フヤス −4 . . . +0 . . . +4 最小値 中心値 最大値 9段階 初期値は+0付近に設定してあります。
プリント画像に横方向のスジが目立つ場合に調整できます。 濃いめのスジが目立つ場合は、モードキーを押して値を減らすようにし、また白抜けしたようなスジが目立つ場合は、原稿濃度キーを押して値を増やすようにしてください。 但し、本体の機構上、スジを完全に無くすことは難しい場合がありますことをご了承ください。  横スジ プリント方向	ヨコスジ チョウセイ = +0 H モード：ヘラス ノウト：フヤス −8 . . . +0 . . . +8 最小値 中心値 最大値 17段階 初期値は+0付近に設定してあります。
サーマルヘッドに付加する印字パワーを±9段階で調整できます。 モードキーが（−）、原稿濃度キーが（+）で、押すごとに1段階ずつ設定できます。	インジ パワー = +0 H モード：ダウン ノウト：アップ −9 . . . +0 . . . +9 最小(薄) 中心値 最大(濃) 19段階 初期値は+0に設定してあります。

条件設定方法

- 1 モードキーを3秒以上、押します。

□カンネツシー
ヒョウジ ユン A1 □--*--■



条件設定モードに入り、ガゾウムキの項目画面が表示されます。

ガ ゾ ウムキ =0 H
モート : 0ノーマル ノウト : 1ミラー

■条件設定内容の確認方法
記録紙キーを押すごとに条件設定項目を選択、設定内容を確認できます。



- 2 記録紙キーを押して「条件設定項目」を選択します。

ガゾウムキ
ページギャップ
タテスジ チョウセイ
ヨコスジ チョウセイ
インジパワー



- 5 拡大サイズキーを3秒以上押して、初期画面に戻します。

□カンネツシー
ヒョウジ ユン A1 □--*--■



- 4 内容を確認する場合には、スタート/ストップキーを押します。

「H」の文字が表示されます

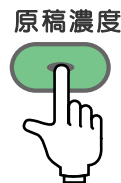
ガ ゾ ウムキ =0 H
モート : 0ノーマル ノウト : 1ミラー

⇒ 複数の条件設定を行う場合、2~4を繰り返します。



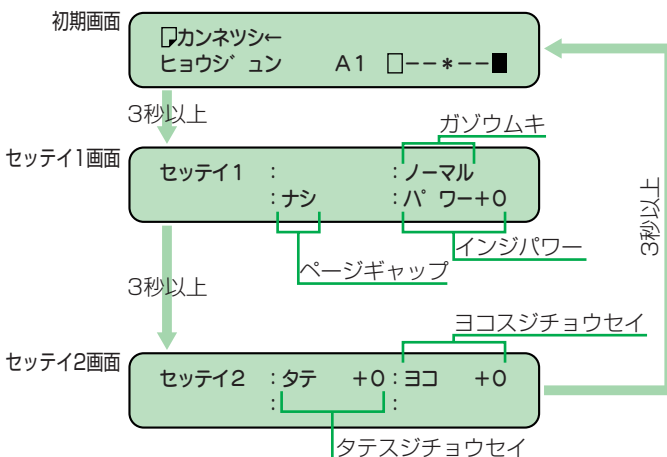
- 3 モードキーとノウド(原稿濃度)キーにより、設定内容及び、調整値を入力します。

ガ ゾ ウムキ =0
モート : 0ノーマル ノウト : 1ミラー



条件設定内容の確認方法

通常の状態、拡大サイズキーを3秒以上押すと、セッテイ1画面が表示され、更に拡大サイズキーを3秒以上押すと、セッテイ2画面が表示されます。拡大サイズキーを更に3秒以上押すと初期画面に戻ります。

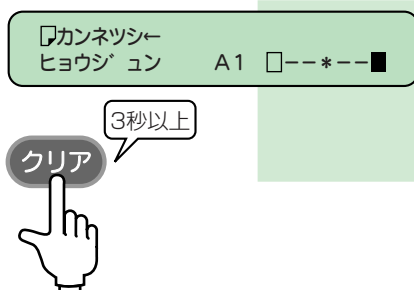


ペーパー残量モード

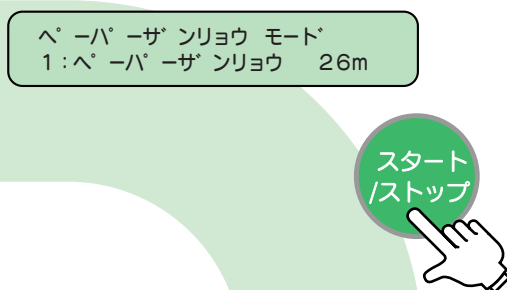
使用中の記録紙があとどの位残っているかの確認のため、ペーパー残量モードを搭載しています。
また、途中で記録紙を交換する場合の残量値の記録のため、残量を印字することもできます。

記録紙の残量値の設定

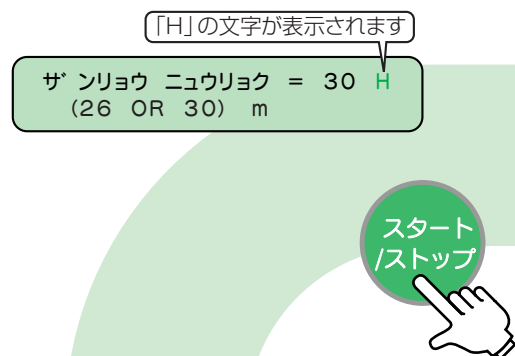
1 クリアキーを3秒以上押します。



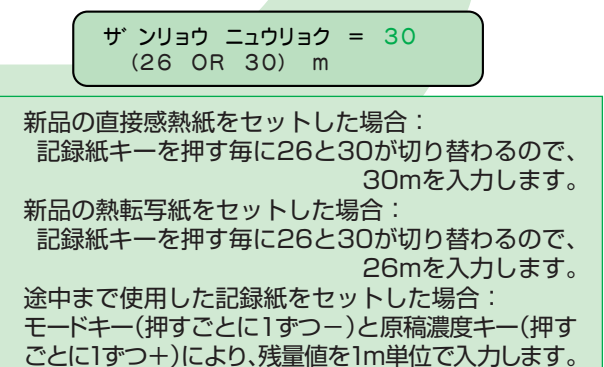
2 ペーパーザンリョウモードのペーパーザンリョウ画面が表示されます。この状態でスタート/ストップキーを押します。



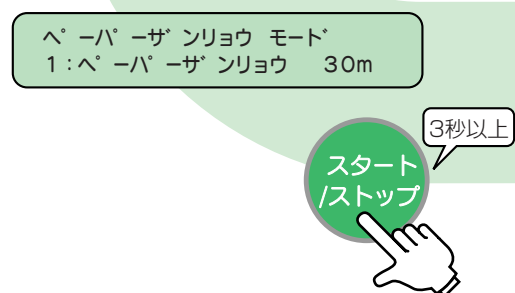
4 入力した残量値を確定するためスタート/ストップキーを押します。



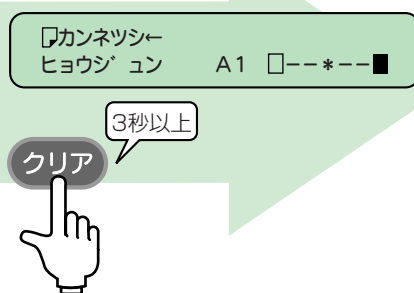
3 ザンリョウニュウリョク画面が表示されますので、記録紙の残量値を入力します。



5 スタート/ストップキー3秒以上押すと、ペーパーザンリョウモードのペーパーザンリョウ画面に戻ります。

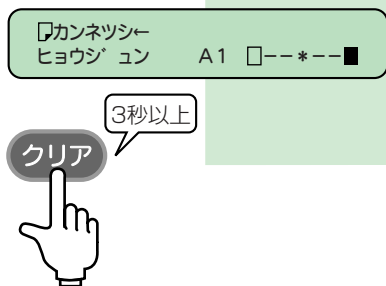


6 クリアキーを3秒以上押すと、初期画面に戻ります。

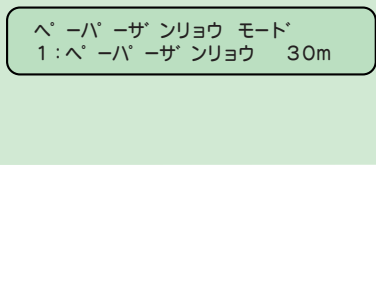


記録紙の残量値の確認

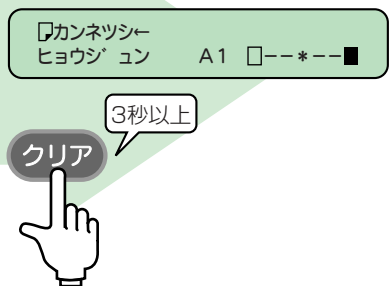
- 1 クリアキーを3秒以上押します。



- 2 ペーパーザンリョウモードのペーパーザンリョウ画面が表示され、残量をm単位で確認できます。

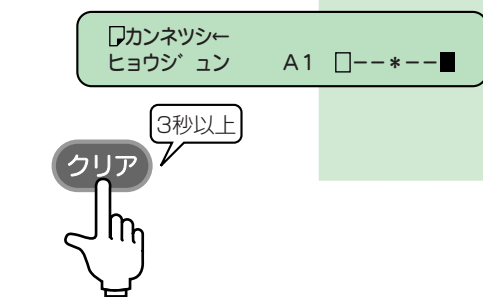


- 3 クリアキーを3秒以上押すと、初期画面に戻ります。

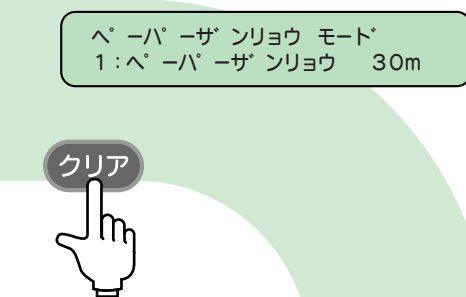


記録紙の残量値のプリント

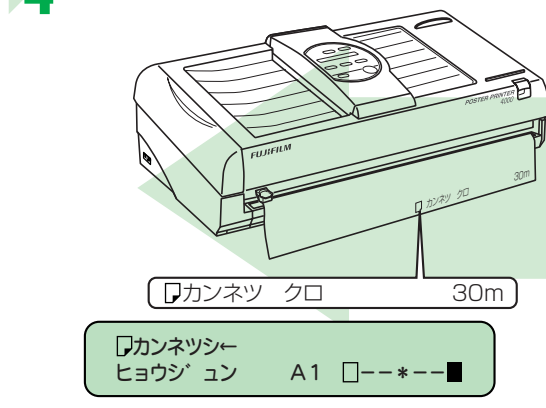
- 1 クリアキーを3秒以上押します。



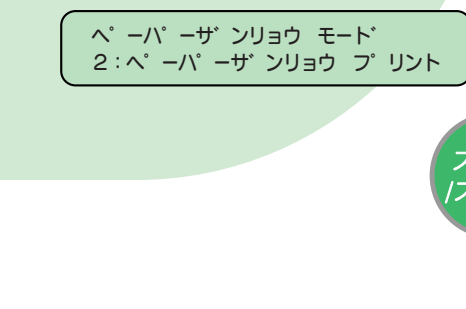
- 2 ペーパーザンリョウモードのペーパーザンリョウ画面が表示され、この状態でクリアキーを押します。



- 4 プリント終了後、初期画面に戻ります。

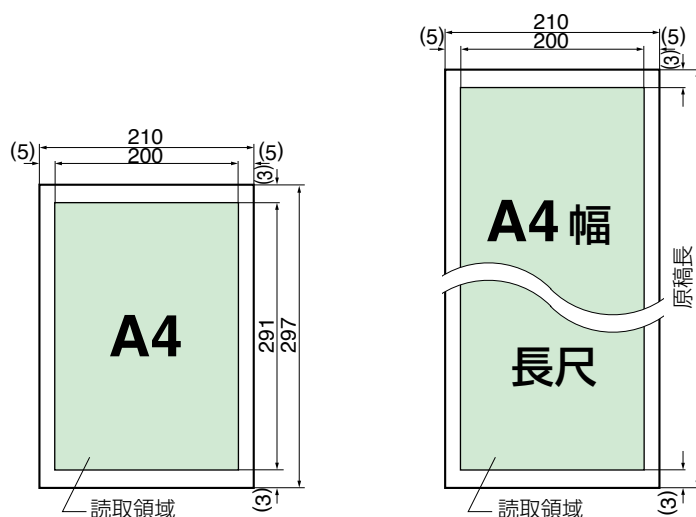


- 3 ペーパーザンリョウモードのペーパーザンリョウプリント画面が表示されますので、スタート/ストップキーを押します。



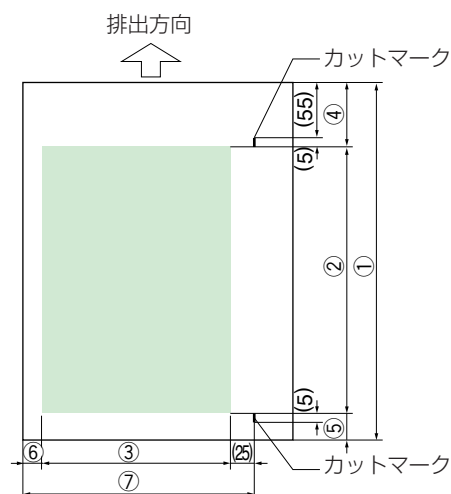
読み取り／プリント領域

読み取り領域(原稿はA4サイズ)



プリント領域

記録紙のサイズより小さいサイズの拡大サイズを選択した場合、自動的にカットマークを印字します。
ただし、本体の条件設定でページ間ギャップ「ナシ」を選択した時は、カットマークは印字されません。



記録用紙のサイズ	拡大サイズ	①紙の長さ	②プリント長	③プリント幅	④先端余白	⑤後端余白	⑥左端余白	⑦カットマーク位置
A1	A2	587	510	359	60	(17)	30	420
	B2	742	665	468	60	(17)	21.5	513
	A1	861	784	549	60	(17)	21.5	-
	A0(左)	1202	1125	403	60	(17)	21.5	418
	A0(右)	1202	1125	403	60	(17)	167	173
	A0x2(左)	1622	1545	549	60	(17)	21.5	563
	A0x2(右)	1622	1545	549	60	(17)	21.5	30
A2	A4	310	233	163	60	(17)	21.5	208
	B4	377	300	209	60	(17)	21.5	257
	A3	434	357	250	60	(17)	21.5	298
	B3	529	452	318	60	(17)	21.5	366
	A2	587	510	359	60	(17)	30	-

※表値は標準的な寸法です。記録紙の種類・モード・環境などにより若干変動します。

(単位：mm)

種類と特長

直接感熱紙・熱転写紙の2種類の記録紙が使用できます。

直接感熱紙

- ポスター、説明用フリップ、横断幕などが簡単に手軽に作成できる低価格な用紙です。室内用掲示に適しています。

熱転写紙

- プリント後、インクフィルムをはがすと高品質のプリント画像が得られます。
- 普通紙タイプですので、画像の変色が少なく長期の掲示に適しています。
- 油性マーカーによる色付けが行なえ、ラミネート加工も可能です。

種類／サイズ一覧

種類	色 種		サイズ(記録紙幅×長さ)	
	地色(紙の色)* ¹	発 色* ²	A 1	A 2
直接感熱紙	白	黒	594mm×30.3m* ³ (A1で約35枚)	420mm×30.3m* ³ (A2で約49枚)
		レッド		
		ブルー		
	ライトブルー(LB)* ⁵	黒		
	ピンク(P)* ⁵			
	イエロー(Y)* ⁵			
熱転写紙	白	黒* ⁵	594mm×26m* ⁴ (A1で約30枚)	420mm×26m* ⁴ (A2で約42枚)
		レッド* ⁵		
		ブルー * ⁵		

*1 地色とは、紙の色のことです。白の他、ライトブルー(LB)・ピンク(P)・イエロー(Y)がそろっています。

*2 発色とは、プリント時に熱を加えることによって現れる色のことをいいます。

*3 記録紙は、新品をセットした時に残量入力を30mと設定します。

*4 記録紙は、新品をセットした時に残量入力を26mと設定します。

*5 記録紙は、A1サイズのみです。

取扱上のご注意

各記録紙共通

- 高温の場所に置かないでください。変色することがあります。
- 開封した状態で高湿や低湿の場所に置かないでください。
記録紙が伸びたり縮んだりして、本体にセットできなくなることがあります。
- 開封した状態では日光の当たらない場所に保管してください。変色することがあります。

直接感熱紙

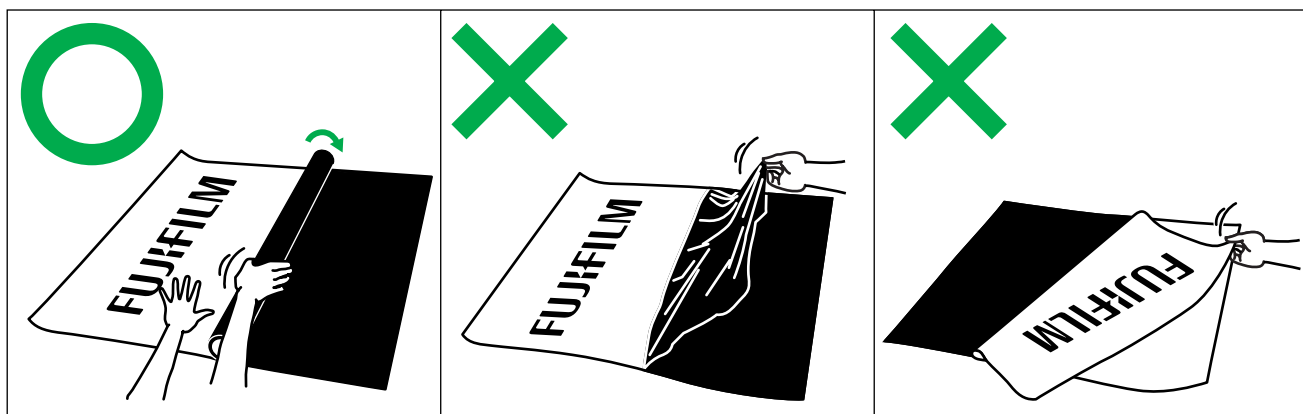
- 貼り出す場合は、直射日光を避けてください。変色したり退色することがあります。
- 色付けする場合は、水溶性の顔料マーカーを使用してください。
(例：ユニボス力、プロッキー、ポップメイト等)
- 溶剤や蛍光剤の入ったもの(塩化ビニール製のホルダやプラスチック消しゴム等)は記録部を、退色させますので使わないでください。
- プリント面をかたいもので強くこすらないでください。発色することがあります。

熱転写紙／HDペーパー[※](横断幕用)

- 油性マーカーによる色付けができます。
但し、プリント部分に溶剤の入ったペンやマーカーを使用すると、転写されたインクが溶かされ色が濁る場合があります。
- インクフィルムのはがし方に注意してください。はがし方は下の図をご覧ください。
- 高温の場所に置かないでください。インクがペーパーに転写して地かぶりが発生することがあります。

熱転写紙とHDペーパー[※]のインクフィルムのはがし方

机の上などの平らな場所で紙を押えながら、記録紙の筒などでインクフィルムを水平方向に巻き取って、ゆっくりはがしてください。



※注) HDペーパーは販売終了商品です。

メッセージの内容及び対応

■ エラーメッセージの内容と対応

メッセージ表示部にエラーメッセージが表示されたら、内容に従い処置をしてください。
処置を行っても正常に動作しない場合は、メッセージを控えて販売店にご連絡ください。

エラーメッセージ	内 容	処 置
ゲ ンコウナシ マタハ ハンソウフリョウ リセット : ストップ キー	原稿の引き込みを開始した後、一定時間内に原稿の先端部分を検出しない時に表示します。	スタート/ストップキーを押すと初期画面に戻ります。再度原稿をセットしてスタート/ストップキーを押してください。
ゲ ンコウジ ャム	スキャナー部に原稿が詰まった場合に表示します。	スキャナーカバーを開け、原稿を取り除いてください。
スキャナカバ ー オープン	スキャナーカバーが開いているときに表示します。	スキャナーカバーをしっかりと閉めてください。スキャナーカバースイッチが変形していないか確認してください。(P39参照)
プ リンターカバ ー オープン	プリンターカバーが開いているときに表示します。	プリンターカバーの両端を持って、しっかりと閉めてください。
キロクヨウシ ナシ	記録紙がセットされていないときに表示します。 記録紙のセットが悪いときに表示します。	記録紙をセットしてください。 記録紙のセットをやり直してください。
サーマルヘッド オント オバー ー	サーマルヘッドの温度が高温になり過ぎたときに表示します。	電源スイッチを切って、3分以上経ってから、再度、電源スイッチを入れてください。
シャトル ユサ エラー	電源投入時または、エラー復帰後、シャトルユニットがホームポジションを検出できないときに表示します。	・電源スイッチを切って、シャトルシャフトを清掃し、シャトルユニットをホームポジション(右側)に指でずらしってください。 その後、再度電源スイッチを入れます。
リリースト ユサ エラー	機械が異常の場合に表示します。	電源スイッチを切って、再度電源スイッチを入れてください。 もし処置を行っても正常に動作しない場合は販売店にご連絡ください。 なお、連絡する際には、表示されたエラーメッセージを併せてお知らせください。
EEPROM サム エラー		
EEPROM リード / ライト エラー		
システムエラー		
ヨミトリハンイ デ ータ エラー リセット ストップ キー	拡大シートに描かれた枠線が仕様外の場合に表示します。	拡大シートに描いた線の太さ、濃さ、線が閉じているか、拡大領域等を修正してください。

こんなトラブルのときには

使用中にトラブルが発生した場合には、内容に従い処置をしてください。
処置を行なっても正常に戻らないときには販売店にご連絡ください。

トラブルの内容及び対応

No.	状 態	処 置	参考頁
1	電源スイッチを入れても動かない	・電源コードが正しく接続されているか確認してください。	P3
2	プリント画像にスポット状またはスジ状のムラが発生する		
	1)縦スジが発生する場合 	・スキャナー部のプラテンガラスを清掃してください。	P39
		・サーマルヘッド間で縦スジが目立つ場合には、条件設定モードの「縦方向のスジの調整」を行なってください。	P28
	2)横スジが発生する場合 	・サーマルヘッドを清掃してください。	P38
		・約20mm間隔で横スジが目立つ場合には、条件設定モードの「横方向のスジの調整」を行なってください。	P28
	3)所々に白スジが入る場合 	・記録紙が本体に曲がってセットされていないか確認してください。 ・フランジガイドユニットが正しくセットされているか確認して下さい。	P14
3	4)周期的にスポット状の白抜けが発生する場合 	・プラテンゴムの表面にゴミまたは浮きがないか確認してください。 ・プラテンゴムの表面を清掃してください。	P38
	5)プリント画像の左側部分が印字されない場合 	・プリンターカバーが正しく閉じていません。 1度カバーを開け、カバーの両端を持ってしっかりと閉めてください。	P15
	プリント画像が曲がったり、 ゆがんだりして乱れる	・原稿が曲がってセットされていないか確認してください。	P17
		・スキャナーカバー、プリンターカバーが浮き上がっていないか確認してください。	P15
		・記録紙が曲がってセットされていないか確認してください。	P15
		・原稿フィードローラー、記録紙フィードローラーが汚れている場合は清掃してください。	P38 P39
4	プリント画像がとれない（真っ白）	・記録紙が逆向きでセットされていないか確認してください。	P15
		・原稿面を上向きにしてセットしていないか確認してください。	P16
5	プリント画像がカスレる	・原稿濃度の設定を「うすい」にするとカスレは少なくなります。	P13
		・原稿自体の画像が薄すぎる場合には、濃い原稿に換えてください。	
		・本体にセットされている記録紙と記録紙の種類の設定が合っているか確認してください。	P13

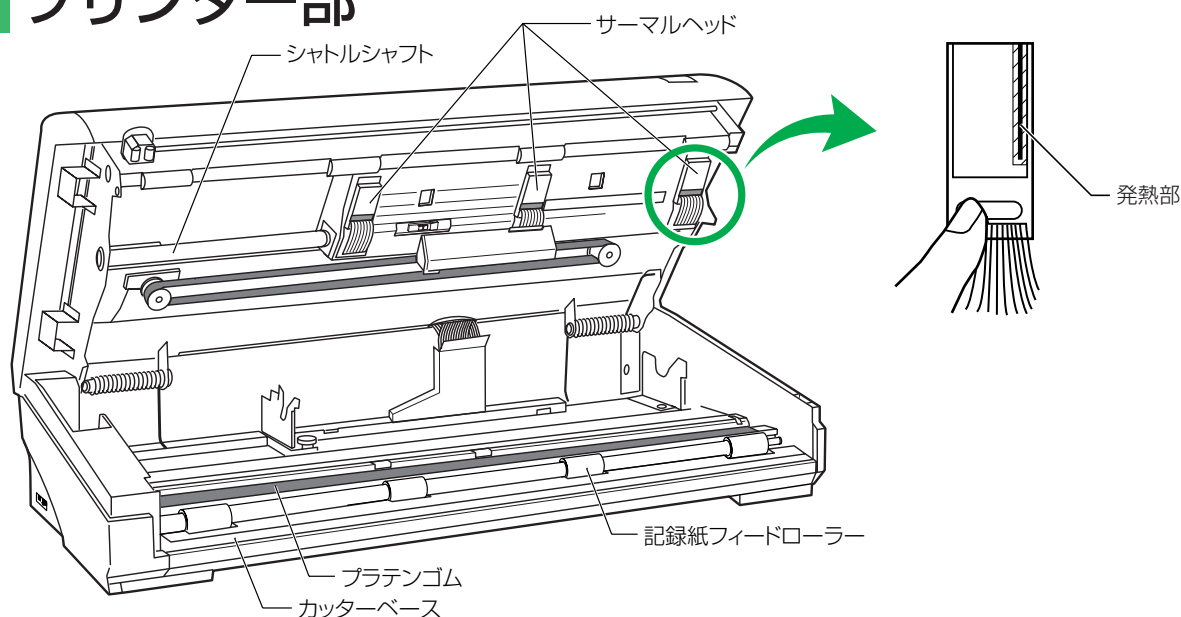
No.	状 態	処 置	参考頁
6	記録紙をセットするとき、フランジガイドに入らなかったり、外れてしまう	・ 湿度により記録紙が伸びたり、縮んだりします。 記録紙の幅に合わせてフランジガイドユニットの調整つまみで調整するか、新しい記録紙と交換してください。	P15
7	プリント画像がツブれる	・ 原稿濃度の設定を「こい」にするとツブれは少なくなります。	P13
		・ 原稿自体の画像が濃すぎる場合には、薄い原稿に交換してください。	
		・ 本体にセットされている記録紙と記録紙の種類の設定が合っているか確認してください。	P13
8	プリント(記録紙)が出てこない	・ プリンターカバーを開けて、記録紙がフィードローラーに巻き付いていないか確認してください。 ・ プリンターカバーが浮き上がっていないか確認してください。	P15
9	スタート/ストップキーを押してもプリント動作を開始しない	・ 原稿を突き当たるまで奥に差し込んでください。	P17
		・ 透過性の原稿の場合は動作しません。 普通紙にコピーをして使用してください。	
		・ メッセージ表示部にエラーメッセージが表示されているか確認してください。	P35
10	プリント画像の余白部分に汚れが出る	・ サーマルヘッドを清掃してください。 ・ スキャナー部のプラテンガラスを清掃してください。	P38 P39
11	原稿ジャムが発生する (エラーが点灯し、「ゲンコウジャム」のメッセージが表示される)	・ スキャナーカバーを開け、原稿を取り除いてください。 ・ スキャナーカバーが浮き上がっていないか確認してください。	P35
		・ 再度発生する場合、原稿のセットが正常か確認して再セットしてください。	P17
12	プリント動作が遅い (メッセージ表示部に「テイソクモードドウサチュウ」と表示されている)	・ 黒色部分の多い原稿や反転モードの場合、サーマルヘッドが高温になるとプリント動作は自動的に低速になります。 異常ではありませんので、そのままご使用ください。	P19
13	記録紙の裏側に黒い帯がでる	・ 直接感熱紙の場合のみ、エンドマークとして黒い帯を印刷してあります。エンドマークが出たら、記録紙を交換してください。	
14	「ガーガー」と異常音が発生してプリント画像が乱れる。または「シャトルドウサ エラー」をメッセージ表示部に表示している	・ シャトルシャフトを清掃してください。 ・ シャトルシャフト部の梱包部材を取り除いてください。	P38 P2
15	熱転写紙・HDペーパー※で白い泡状のヌケや白いスジが発生する	・ 本体にセットされている記録紙と記録紙種類の設定が合っているか確認してください。	P13
16	熱転写紙・HDペーパー※でインクシートのシワが異常に多い	・ 本体にセットされている記録紙と記録紙種類の設定が合っているか確認してください。	P13
17	プリントがミラーイメージの状態です	・ 条件設定モードの「ガゾウムキ」を「ノーマル」に変更してください。	P28
18	メッセージ表示部のコントラストが低い	・ 操作パネルの保護シートをはがしてください。	P12
19	用紙が破れる	・ フランジガイドユニットが正しくセットされているか確認してください。 ・ 水平な場所に置いているか確認してください。 ・ 専用記録紙 (FUJIFILMポスタープリンターペーパー) を使用しているか確認してください。	P14

※注) HDペーパーは販売終了商品です。

次のような異常が発生した場合には、手順に従って清掃を行ってください。

異常動作	清掃箇所
1 記録紙が正常に送られない	➡ 記録紙フィードローラー
2 プリント動作中に異常音が発生する	➡ シャトルシャフト
3 プリント画像に周期的に横方向のスジが発生する	➡ サーマルヘッド
4 プリント画像に縦方向のスジが発生する	➡ プラテンガラス
5 原稿が正常に送られない	➡ 原稿フィードローラー／プラテンローラー／原稿排出ローラー

プリンター部



■ 記録紙フィードローラー

やわらかい布に水を含ませて汚れを落とした後、乾拭きします。

■ プラテンゴム／カッターベース

やわらかい布で乾拭きします。

⚠ 注意

プラテンゴムに傷を付けないようにご注意ください。
また、プラテンゴムの表面をアルコールなどの溶剤で拭かないでください。

■ シャトルシャフト

シャフトに汚れがたまると動きが重くなり誤動作することがあります。

汚れをていねいにやわらかい布で拭きとってください。

■ サーマルヘッド

サーマルヘッドが冷えてから（電源OFF後、2分以上経過してから）発熱部をやわらかい布で乾拭きします。特に汚れがひどい場合は、微量の無水エタノール（薬局で購入できます）を付けて拭いてください。（発熱部には直接指でさわらないでください）

サーマルヘッドは消耗部品です。サーマルヘッドの異物による破損、摩耗を防ぐ為にも、定期的なサーマルヘッドの清掃をお勧めします。また、長期間機械を使用しない場合は、記録紙を取り除いて専用袋に保管して下さい。

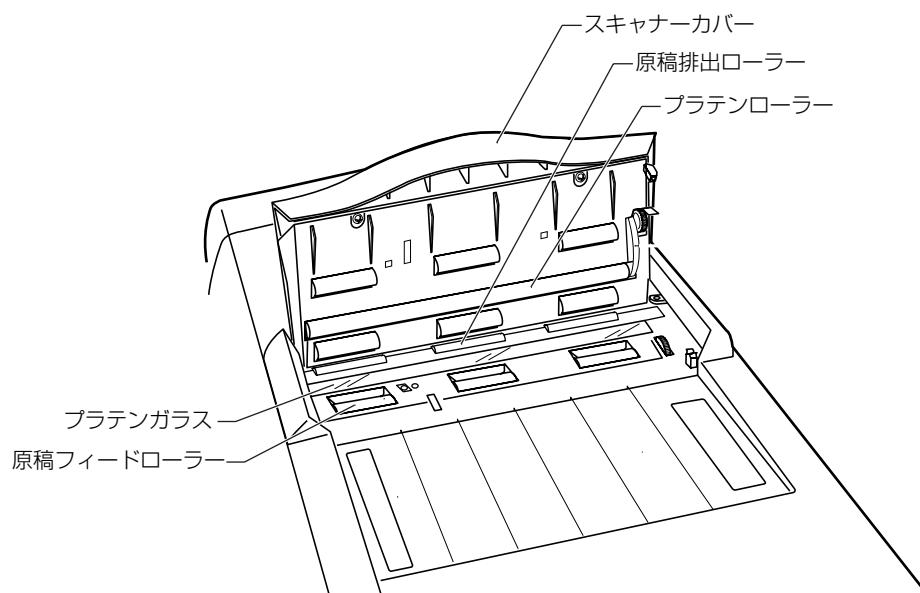
■ スキャナー部

■ プラテンガラス

やわらかい布で乾拭きします。汚れが落ちない場合は、水拭きした後乾拭きします。

■ 原稿フィードローラー／プラテンローラー／原稿排出ローラー

やわらかい布に水を含ませ汚れを落とした後、乾拭きします。



⚠ 注意

- 清掃する場合は必ず、電源プラグを抜いて行ってください。
- ベンジン・アルコール・シンナーなどの有機溶剤やクリーナーは、絶対に使用しないでください。
- サーマルヘッドには、無水エタノール以外は絶対に使用しないでください。
- プラテンゴムは、プリント画像に影響しますので、傷を付けないように注意してください。
- スキャナカバーの開閉角度は、約70度までです。それ以上は、絶対に開かないように注意してください。

仕 様

形 式	デスクトップタイプ				
読 取 り 方 式	固定式密着イメージセンサ				
読 取 り 解 像 度	15.7ドット/mm (400dpi)				
原 稿 サ イ ズ	A4, 長尺サイズ				
原 稿 形 式	シート状, 厚さ: 50~350 μ m				
プ リ ン ト 方 式	感熱記録方式				
プ リ ン ト モ ード	標準, 高速, 写真, 反転, オンライン (オプション)				
部 分 拡 大 機 能	原稿サイズ: 幅210mm, 長さ297~2000mm 拡大指定領域: 幅50~194mm, 長さ50~1988mm				
プ リ ン ト 解 像 度	11.8ドット/mm (300dpi)				
記 録 紙 サ イ ズ	A1, A2幅のロール紙				
記 録 紙 の 種 類	専用記録紙 (FUJIFILMポスタープリンターペーパー) 直接感熱紙, 熱転写紙				
記 録 サ イ ズ	A4, B4, A3, B3, A2, B2, A1, A0, A0 $\times$ 2 (A0, A0 $\times$ 2は貼り合わせ) 長尺サイズ (長さの目安は、原稿サイズに拡大倍率を掛けた長さ)				
記 録 紙 給 紙 方 法	ロール紙連続給紙				
記 録 紙 カ ッ ト 方 式	手動カット (双方向カット可能)				
プ リ ン ト サ イ ズ 及 ビ ス ピ ード	拡大サイズ	拡大倍率 (線倍率)	高速モード		標準・反転モード
			直接感熱紙	熱転写・HDペーパー	写真モード
	A2	約1.7倍	約0分59秒	約1分08秒	約1分11秒
	A1	約2.7倍	約1分18秒	約1分32秒	約1分37秒
ウォームアップタイム	約8秒				
騒 音	約53dB(A)				
寸 法 ・ 重 量	約715(W) $\times$ 315(D) $\times$ 215(H)mm 約14kg				
電 源	AC100V $\pm$ 10%, 50/60Hz				
消 費 電 力	待機時: 約15W, プリント時: 約210W				
使 用 環 境	周辺温度: 10~30 $^{\circ}$ C, 相対湿度: 20~80%RH				
付 属 品	フランジガイドユニット (1個), フランジ (2個), 電源コード, アダプタ, A1直接感熱紙, 取扱説明書, 基本操作説明書, 保証書の発行方法について, 連絡先ラベル				
オ プ シ ョ ン	スタンド, インターフェースキット				
消 耗 部 品	プラテングム, サーマルヘッド, カッターユニット, カッターベース				

※記録紙サイズは呼称であり、JIS規格寸法とは若干異なります。

本緒元は改良のため、予告なく変更することがあります。

消耗部品とは、保証期間内に故障が起きた場合に、有償となる部品のことをいいます。

索引

あ	アダプタ	2,3	さ	条件設定モード	28
	インクフィルム	34		スキャナーカバー	10,11,39
	印字パワーの設定	28		スタート/ストップキー	12,17
	インターフェースボード取付部	10		清掃方法	38
	A1サイズ記録紙でのプリント	24		セットマーク	15
	ACインレット	10		操作パネル	10,12
	A0×2サイズにプリント	24	た	タイミングベルト	11
	B2サイズにプリント	26		縦方向のスジの調整	28
	エラーメッセージ	35		長尺原稿	8,27
	オンライン表示	12		長尺プリント	27
か	開閉レバー	10,14		直接感熱紙	9,13,33,34
	拡大サイズキー	12	な	電源コード	2,3
	拡大シート	21		電源スイッチ	3,10,17
	拡大シートの作り方	22		電源部	10
	画像の向き設定	28		トラブル	36
	カッター	14	は	2Pコンセント	3
	カッターの正しい使い方	14		熱転写紙	9,13,33,34
	カッターベース	10,11,38		貼り合わせ	24
	カッターユニット	10,11		反転モード	8,19
	カットマーク	24,25,32		標準モード	8,16
	記録紙	13,33,34		部分拡大キー	12
	記録紙有無センサ	11		部分拡大プリント	20
	記録紙キー	12		プラグ	3
	記録紙サイズセンサ	11		プラテンガラス	11,39
	記録紙の残量設定	30,31		プラテンゴム	11,38
	記録紙のセット	14		プラテンローラー	11,39
	記録紙の発色の表示方法	13		フランジ	2,15
	記録紙フィードローラー	11,38		フランジガイド	11,15
	クリアキー	12		フランジガイドユニット	2,11,15
	原稿ガイド	10	ま	プリンターカバー	10
	原稿セット台	10,11		プリント出口	10
	原稿トレイ	10		プリント領域	32
	原稿濃度キー	12		分割プリント	24
	原稿排出ローラー	11,39		ページ間ギャップ設定	28
さ	原稿フィードローラー	11,39	や	ペーパー残量モード	30
	高速モード	8,16		メッセージ表示部	12,13
	コピーできません表示	12	さ	モードキー	12
	サーマルヘッド	11,38		横方向のスジの調整	28
	三角マーク	15	や	読み取り領域	32
さ	3Pコンセント	3			
	写真モード	8,18			
	シャトルシャフト	38			